

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程				
科目名	心理学	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習				
授業概要	人間の行動や心の動きを科学的に分析し、それらの機序について学び、論理的思考能力を養い、身に着け、人間性を高める。						
担当講師	氏名	峯 有市	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験	病院で臨床心理士として業務を行い臨床現場の経験をもとに心理学の指導にあたる。						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	各観点からの心理学の学習を通して、科学としての心理学の理解を深め、柔道整復師としての人間性の向上を目指す。						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	心理学とはなにか	2時間
2	心理学研究の方法論	2時間
3	精神力動的観点	2時間
4	精神力動的観点	2時間
5	行動主義的観点	2時間
6	行動主義的観点	2時間
7	認知論的観点	2時間
8	認知論的観点	2時間
9	人間性心理学的観点	2時間
10	集団力学的観点	2時間
11	発達心理学的観点	2時間
12	臨床のなかの心理学	2時間
13	産業のなかの心理学	2時間
14	教育のなかの心理学	2時間
15	心理学をいかに生かすか（まとめ）	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

試験の成績・出欠・授業態度の総合判断にて評価する

## 使用教材・参考文献等

心理学概論（2006） 山内弘継他 ナカミシア出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程
科 目 名	社会福祉学	授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	社会福祉学の授業を通し、柔道整復師の社会的役割と責任を理解する。また社会に対しての興味や関心を持ち考察する能力を養う。		
担 当 講 師	氏名            中村 邦洋	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実 務 経 験	病院のソーシャルワーカーとしてとして業務を行い現場の経験をもとに社会福祉学の指導にあたる。		
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到 達 目 標	柔道整復師に必要な社会福祉分野を理解し、社会福祉の基礎的な思想と今後の方向性、および地域福祉など包括的に学ぶ。		
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授 業 の 進 め 方	・板書による講義を中心とする。 ・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。		

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	アイスブレイク（オリエン・ガイダンス）	2時間
2	社会福祉とは何か？	2時間
3	対人支援の大切さ	2時間
4	コミュニケーションとは？	2時間
5	コミュニケーション体験	2時間
6	車椅子体験	2時間
7	高齢者体験	2時間
8	障害者福祉	2時間
9	障害者福祉の制度	2時間
10	児童福祉	2時間
11	児童福祉の制度	2時間
12	高齢者福祉	2時間
13	高齢者福祉の制度	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

<b>成績評価の方法・基準</b> 試験の成績・出欠・授業態度の総合判断にて評価する
---

<b>使用教材・参考文献等</b> 『よくわかる社会福祉』 ミネルヴァ書房 介護職員初任者研修テキスト 中央法規出版
--

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程				
科目名	国語表現	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	社会人としてのコミュニケーション能力（主に、話す・聞く・書く）を身に着ける。						
担当講師	氏名 植木 美恵	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員					
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	柔道整復師業務に関係するコミュニケーション能力を身につける。						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	社会人の心得	2時間
2	読解・要約①	2時間
3	読解・要約②	2時間
4	読解・要約③	2時間
5	レポート①	2時間
6	レポート②	2時間
7	レポート③	2時間
8	敬語①	2時間
9	敬語②	2時間
10	敬語③	2時間
11	履歴書①	2時間
12	履歴書②	2時間
13	履歴書③	2時間
14	就活準備①	2時間
15	就活準備②	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

出席率・授業態度・提出物・小テスト等を総合して評価する。

## 使用教材・参考文献等

・自主作成のプリント

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	医学英語		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	柔道セラピストとしてグローバルに活躍するにあたっての基本的な医学英語の学習を行う。						
担当講師	氏名 大坪 有実		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	柔道整復師業務に関係する簡単な英会話を身につける。						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	柔道整復について説明するための表現 / Registration Form	2時間
2	受付のための表現	2時間
3	医療面接のための表現	2時間
4	身体観察・評価のための表現	2時間
5	評価の告知のための表現	2時間
6	施術開始時、施術中の汎用的表現 / プリント教材 Rehabilitation編	2時間
7	復習	2時間
8	整復の施術のための表現	2時間
9	固定の施術のための表現	2時間
10	物理療法の施術のための表現	2時間
11	運動療法の施術のための表現	2時間
12	手技療法の施術のための表現	2時間
13	処置・施術後の表現	2時間
14	会計のための表現	2時間
15	復習・まとめ	2時間
16	試験	
17	解答・解説	
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

試験の成績・出欠・授業態度の総合判断にて評価する

## 使用教材・参考文献等

柔道整復師のための英会話表現 医歯薬出版株式会社

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科 目 名	情報処理概論		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	パソコンの基本的な操作方法を学ぶ。 Excel・Wordの一般的な技術の取得。						
担当講師	氏名	早田 伸洋		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	Word&Excelを駆使し、柔道整復業務の事務作業をこなせるようになる。						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクターを用いてパソコン操作の方法を身に付ける。</li> <li>・ 練習問題の演習。</li> </ul>						

回数	授業内容	授業時間
1	パソコンの基本操作（マウスとキーボードの取り扱い）	2時間
2	文書作成ソフト Microsoft Office Wordの概要・画面構成	2時間
3	Wordの起動・文章入力	2時間
4	文章入力 練習問題	2時間
5	ビジネス文書 作成（1）	2時間
6	ビジネス文書 作成（2）	2時間
7	ビジネス文書 作成 練習問題	2時間
8	表入り文書 作成（1）	2時間
9	表入り文書 作成（2）	2時間
10	表入り文書 作成 練習問題	2時間
11	イラスト入り文書など装飾された文書の作成（1）	2時間
12	イラスト入り文書など装飾された文書の作成（2）	2時間
13	イラスト入り文書など装飾された文書の作成 練習問題	2時間
14	実技試験	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
試験の成績・出欠・授業態度の総合判断にて評価する

使用教材・参考文献等
「よくわかる Word2016&Excel2016」 （FOM出版）

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	情報処理演習 I	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	パソコンの基本的な操作方法を学ぶ。 Excel・Wordの一般的な技術の取得。				
担 当 講 師	氏 名	早田 伸洋			
実務経験	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択
到 達 目 標	Word&Excelを駆使し、柔道整復業務の事務作業をこなせるようになる。				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクターを用いてパソコン操作の方法を身に付ける。</li> <li>・ 練習問題の演習。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	表計算ソフト Microsoft Office Excelの概要・画面構成	2時間
2	Excelの起動・文章と数値入力	2時間
3	基本的な数式入力	2時間
4	表の装飾	2時間
5	関数の挿入（1）	2時間
6	関数の挿入（2）	2時間
7	関数の挿入（3）	2時間
8	グラフの作成（1）	2時間
9	グラフの作成（2）	2時間
10	グラフの作成（3）	2時間
11	データベース機能の利用（1）	2時間
12	データベース機能の利用（2）	2時間
13	Excelの練習問題	2時間
14	実技試験	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

試験の成績・出欠・授業態度の総合判断にて評価する

## 使用教材・参考文献等

「よくわかる Word2016&Excel2016」 (FOM出版)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程				
科目名	保健体育	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	日常生活における心身の健康について理解し、他者に伝える力を養う						
担当講師	氏名	桶谷 英司	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	柔道整復師として、心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営むことができるような知識と態度を身に付ける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	・健康水準の向上とその背景	2時間
2	・健康問題の変化について	2時間
3	・健康のとらえ方 ・健康に関わるさまざまな要因について	2時間
4	・健康に関する環境づくり	2時間
5	・生活習慣病とその予防（食事・運動）	2時間
6	・現代の感染症とその予防	2時間
7	・心身の相関とストレス ・ストレスの対処法	2時間
8	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当	2時間
9	・現代の人口割合について ・加齢と健康	2時間
10	・高齢者のための社会的取り組み	2時間
11	・保健制度、医療制度とその活用	2時間
12	・働くことと健康について	2時間
13	・健康的な職業生活	2時間
14	試験	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

試験の成績・出欠・授業態度の総合判断にて評価する

## 使用教材・参考文献等

大修館書店 現代高等保健体育改訂版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	解剖学 I		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	柔道整復師に必要な、人の体を構成する各器官（臓器）の基本的な形態・構造・機能について学習する。						
担当講師	氏名 達 聖月		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	1. 人体解剖学概説（A 意義と分類、B 細胞および組織）	2時間
2	1. 人体解剖学概説（C 発生）	2時間
3	2. 人体解剖学概説（D 器官系統、 E 人体の区分）	2時間
4	2. 運動系（A 骨格系 総論①）	2時間
5	2. 運動系（A 骨格系 総論②）	2時間
6	2. 運動系（A 骨格系 各論① 脊柱）	2時間
7	2. 運動系（A 骨格系 各論② 胸郭）	2時間
8	2. 運動系（A 骨格系 各論③ 上肢骨）	2時間
9	2. 運動系（A 骨格系 各論④ 上肢の関節）	2時間
10	2. 運動系（A 骨格系 各論⑤ 下肢骨）	2時間
11	2. 運動系（A 骨格系 各論⑥ 下肢骨）	2時間
12	2. 運動系（A 骨格系 各論⑦ 下肢の関節）	2時間
13	2. 運動系（A 骨格系 各論⑧ 下肢の関節）	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版  
分冊解剖学アトラス I 運動学、II 内蔵学、III 神経 文光堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	解剖学Ⅱ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	柔道整復師に必要な、人の体を構成する各器官（臓器）の基本的な形態・構造・機能について学習する。						
担当講師	氏名 馬渡 遥香		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	2. 運動系 (A 骨格系 各論⑨ 頭蓋)	2時間
2	2. 運動系 (A 骨格系 各論⑩ 頭蓋)	2時間
3	2. 運動系 (A 骨格系 各論⑪ 頭蓋)	2時間
4	2. 運動系 (A 骨格系 各論⑫ 頭蓋)	2時間
5	2. 運動系 (B 筋系 骨格筋)	2時間
6	2. 運動系 (B 筋系 頭部の筋)	2時間
7	2. 運動系 (B 筋系 頸部の筋)	2時間
8	2. 運動系 (B 筋系 胸部の筋)	2時間
9	2. 運動系 (B 筋系 腹部の筋)	2時間
10	2. 運動系 (B 筋系 背部の筋)	2時間
11	2. 運動系 (B 筋系 上肢の筋①)	2時間
12	2. 運動系 (B 筋系 上肢の筋②)	2時間
13	2. 運動系 (B 筋系 手の筋)	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版  
分冊解剖学アトラス I 運動学、II 内蔵学、III 神経 文光堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	解剖学Ⅲ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	柔道整復師に必要な、人の体を構成する各器官（臓器）の基本的な形態・構造・機能について学習する。						
担当講師	氏名 馬渡 遥香		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	2. 運動系 (B 筋系 下肢の筋①)	2時間
2	2. 運動系 (B 筋系 下肢の筋②)	2時間
3	2. 運動系 (B 筋系 下肢の筋③)	2時間
4	2. 運動系 (B 筋系 足の筋)	2時間
5	3. 脈管系 (A 総論)	2時間
6	3. 脈管系 (B 心臓①)	2時間
7	3. 脈管系 (B 心臓②)	2時間
8	3. 脈管系 (C 心脈管系 動脈系①)	2時間
9	3. 脈管系 (C 心脈管系 動脈系②)	2時間
10	3. 脈管系 (C 心脈管系 動脈系③)	2時間
11	3. 脈管系 (C 心脈管系 動脈系④)	2時間
12	3. 脈管系 (C 心脈管系 静脈系①)	2時間
13	3. 脈管系 (C 心脈管系、静脈系②)	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版  
分冊解剖学アトラス I 運動学、II 内蔵学、III 神経 文光堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	解剖学Ⅳ			授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	柔道整復師に必要な、人の体を構成する各器官（臓器）の基本的な形態・構造・機能について学習する。						
担当講師	氏名            馬渡 遥香			<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	3、脈管系（D リンパ系①）	2時間
2	3、脈管系（D リンパ系②）	2時間
3	3、脈管系（D リンパ系③）	2時間
4	4、内臓系（A 消化器① <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 腔腺）	2時間
5	4、内臓系（A 消化器② 歯 舌）	2時間
6	4、内臓系（A 消化器③ 咽頭 食道 胃）	2時間
7	4、内臓系（A 消化器④ 小腸 大腸）	2時間
8	4、内臓系（A 消化器⑤ 肝臓）	2時間
9	4、内臓系（A 消化器⑥ 脾臓 腹膜）	2時間
10	4、内臓系（B 呼吸器① 外鼻 鼻腔と副鼻腔）	2時間
11	4、内臓系（B 呼吸器② 咽頭 喉頭）	2時間
12	4、内臓系（B 呼吸器③ 気管 肺）	2時間
13	4、内臓系（B 呼吸器④ 胸膜 縦隔）	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版  
 分冊解剖学アトラス I 運動学、II 内蔵学、III 神経 文光堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	解剖学Ⅴ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	柔道整復師に必要な、人の体を構成する各器官（臓器）の基本的な形態・構造・機能について学習する。						
担当講師	氏名                      達 聖月		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	4、内臓系（C 泌尿器① 腎臓）	2時間
2	4、内臓系（C 泌尿器② 尿管）	2時間
3	4、内臓系（C 泌尿器③ 膀胱）	2時間
4	4、内臓系（C 泌尿器④ 尿道）	2時間
5	4、内臓系（D 生殖器① 男性生殖器）	2時間
6	4、内臓系（D 生殖器② 男性生殖器）	2時間
7	4、内臓系（D 生殖器③ 女性生殖器）	2時間
8	4、内臓系（D 生殖器④ 女性生殖器）	2時間
9	4、内臓系（D 生殖器⑤ 女性生殖器）	2時間
10	5、内分泌系（A 内分泌系①）	2時間
11	5、内分泌系（A 内分泌系②）	2時間
12	5、内分泌系（A 内分泌系③）	2時間
13	5、内分泌系（A 内分泌系④）	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版  
分冊解剖学アトラス I 運動学、II 内蔵学、III 神経 文光堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程				
科目名	解剖学Ⅵ	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	柔道整復師に必要な、人の体を構成する各器官（臓器）の基本的な形態・構造・機能について学習する。						
担当講師	氏名	達 聖月	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	6、神経系（A 神経系の基礎）	2時間
2	6、神経系（B 脳①）	2時間
3	6、神経系（B 脳②）	2時間
4	6、神経系（C 脊髄① 区分）	2時間
5	6、神経系（C 脊髄② 伝導路）	2時間
6	6、神経系（C 脊髄③ 伝導路）	2時間
7	6、神経系（D 末梢神経① 脳神経）	2時間
8	6、神経系（D 末梢神経② 脊髄神経）	2時間
9	6、神経系（D 末梢神経③ 自律神経）	2時間
10	7、感覚器（A 外皮）	2時間
11	7、感覚器（B 視覚器）	2時間
12	7、感覚器（C 聴覚器および平衡器）	2時間
13	7、感覚器（D 味覚器、E 嗅覚器）	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版  
分冊解剖学アトラス I 運動学、II 内蔵学、III 神経 文光堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程		
科目名	解剖学Ⅶ	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	柔道整復師に必要な、人の体を構成する各器官（臓器）の基本的な形態・構造・機能について学習する。				
担当講師	氏名 達 聖月	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年 3 年生 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける				
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	解剖総復習①	2時間
2	解剖総復習②	2時間
3	解剖総復習③	2時間
4	解剖総復習④	2時間
5	解剖総復習⑤	2時間
6	解剖総復習⑥	2時間
7	解剖総復習⑦	2時間
8	解剖総復習⑧	2時間
9	解剖総復習⑨	2時間
10	解剖総復習⑩	2時間
11	解剖総復習⑪	2時間
12	解剖総復習⑫	2時間
13	解剖総復習⑬	2時間
14	解剖総復習⑭	2時間
15	解剖総復習⑮	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版  
 分冊解剖学アトラス I 運動学、II 内蔵学、III 神経 文光堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	生理学 I	授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	人体を構成する各臓器や組織の働き・役割・機能について学習する。また高齢者や競技者の生理学的特徴についても学ぶ。				
担 当 講 師	氏名 遠藤 大輔	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験					
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>				

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	1 生理学とは A：細胞の構造と機能	2時間
2	B：組織・器官と生体の機能系	2時間
3	C：生体の恒常性と統合機能 D：体液の区分と組成	2時間
4	2 筋の生理 A：骨格筋	2時間
5	A：骨格筋	2時間
6	A：骨格筋	2時間
7	B：心筋 C：平滑筋	2時間
8	3 神経の生理 A：神経信号の伝達	2時間
9	A：神経信号の伝達 B：神経系の構成	2時間
10	C：脳の高次機能	2時間
11	C：脳の高次機能	2時間
12	D：内臓機能の調節	2時間
13	D：内臓機能の調節	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

<b>成績評価の方法・基準</b> 科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。
--

<b>使用教材・参考文献等</b> 「生理学 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂
--

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程
科目名	生理学Ⅱ	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授業概要	人体を構成する各臓器や組織の働き・役割・機能について学習する。また高齢者や競技者の生理学的特徴についても学ぶ。		
担当講師	氏名            遠藤 大輔	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実務経験			
時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける		
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>		

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	4運動の生理 A：運動の調節	2時間
2	B：運動神経と運動単位	2時間
3	C：脊髄による反射と調節	2時間
4	D：脳幹による運動調節	2時間
5	E：高次運動機能	2時間
6	5感覚の生理 A：感覚の一般的な特性	2時間
7	B；特殊感覚	2時間
8	B；特殊感覚	2時間
9	B；特殊感覚	2時間
10	B；特殊感覚	2時間
11	C：体性感覚	2時間
12	D：内臓感覚	2時間
13	E：痛覚	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「生理学 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	生理学Ⅲ			授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	人体を構成する各臓器や組織の働き・役割・機能について学習する。また高齢者や競技者の生理学的特徴についても学ぶ。						
担当講師	氏名            柴田 恭明			<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	6 内分泌 A：内分泌腺とホルモン	2時間
2	A：内分泌腺とホルモン	2時間
3	B：それぞれの内分泌腺とホルモンのはたらき	2時間
4	C：ホルモンによる内部環境の恒常性維持	2時間
5	C：ホルモンによる内部環境の恒常性維持	2時間
6	7 生殖 A：性分化 B：男性生殖器	2時間
7	C：女性生殖器	2時間
8	D：妊娠と分娩	2時間
9	8 血液 A：血液の成分と組成	2時間
10	B：止血	2時間
11	C：血液型	2時間
12	D：免疫	2時間
13	復習・まとめ①	2時間
14	復習・まとめ②	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「生理学 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	生理学Ⅳ			授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	人体を構成する各臓器や組織の働き・役割・機能について学習する。また高齢者や競技者の生理学的特徴についても学ぶ。						
担当講師	氏名 柴田 恭明			<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	9 骨の生理 A: 骨の構造	2時間
2	B: 骨の成長	2時間
3	10 循環 A: 心臓	2時間
4	B: 血管	2時間
5	C: リンパ系 D: 循環調節	2時間
6	11 呼吸の生理 A: 呼吸器系の構造	2時間
7	B: 換気	2時間
8	C: ガス交換と運搬	2時間
9	D: 呼吸周期の調節	2時間
10	12 尿の生成と排泄 A: 腎臓の構造と機能	2時間
11	B: 尿の生成 C: 腎血流量	2時間
12	D: 排尿	2時間
13	E: 腎臓による体液の調節	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「生理学 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	生理学Ⅴ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	人体を構成する各臓器や組織の働き・役割・機能について学習する。また高齢者や競技者の生理学的特徴についても学ぶ。						
担当講師	氏名 井手 貴治		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	1 3 栄養と代謝 A: 生体に必要な栄養素	2時間
2	B: エネルギー代謝	2時間
3	C: 栄養素の代謝 D: 食物と栄養	2時間
4	1 4 消化と吸収 A: 消化器系の構成とはたらき	2時間
5	B: 食物の消化と吸収	2時間
6	C: 各栄養素の消化と吸収	2時間
7	1 5 体温とその調節 A: 体温 B: 熱産生 C: 熱放散	2時間
8	D: 体温調節 E: 気候馴化 F: 発熱とうつ熱	2時間
9	1 6 高齢者の生理学的 A: 細胞・組織の加齢現象	2時間
10	B: 高齢者の生理的特徴	2時間
11	1 7 発育と発達および競技者の生理学的特徴・変化 A: 成長に伴うからだや運動能力の発達	2時間
12	B: 競技者の生理学的特徴・変	2時間
13	問題演習	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「生理学 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程
科目名	生理学Ⅵ	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授業概要	人体を構成する各臓器や組織の働き・役割・機能について学習する。また高齢者や競技者の生理学的特徴についても学ぶ。		
担当講師	氏名            井手 貴治	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実務経験			
時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける		
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>		

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	問題演習 1	2時間
2	問題演習 2	2時間
3	問題演習 3	2時間
4	問題演習 4	2時間
5	問題演習 5	2時間
6	問題演習 6	2時間
7	問題演習 7	2時間
8	問題演習 8	2時間
9	問題演習 9	2時間
10	問題演習 10	2時間
11	問題演習 11	2時間
12	問題演習 12	2時間
13	問題演習 13	2時間
14	問題演習 14	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

<b>成績評価の方法・基準</b>  科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。
--

<b>使用教材・参考文献等</b>  「生理学 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂
--

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程			
科目名	運動学 I	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	人間の身体運動によってかかる力学やそれによって起こる運動感覚、また、運動学習や運動発達について学習する。					
担当講師	氏名 金ヶ江 光生	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

授業進行計画表			
回数	授業内容		授業時間
1	運動学の目的・運動の表現	運動学の目的とその表し方について	2時間
2	身体活動に關与する力・てこ	身体活動に關与する力・てこについて	2時間
3	運動の法則・仕事と力学	運動の法則・仕事と力学的エネルギー	2時間
4	骨の構造と機能	骨の構造と機能を理解する	2時間
5	関節の構造と機能	関節の構造と機能を理解する	2時間
6	骨格筋の構造と機能	骨格筋の構造と機能を理解する	2時間
7	復習	講義前半の理解度を確認する	2時間
8	神経細胞 末梢神経	末梢神経の働きを理解する	2時間
9	神経細胞 中枢神経	中枢神経の働きを理解する	2時間
10	運動感覚①	運動感覚系を理解する	2時間
11	運動感覚②	運動調節機構を理解する	2時間
12	反射	無意識下で起こる反射を理解する	2時間
13	随意運動	随意運動の理解	2時間
14	復習・まとめ	講義内容の理解度を評価する	2時間
15	解答・解説・総復習	試験内容について解説する	2時間
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

成績評価の方法・基準
中間試験と科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

使用教材・参考文献等
運動学 改訂第3版 全国柔道整復学学校協会監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	運動学Ⅱ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	人間の身体運動によってかかる力学やそれによって起こる運動感覚、また、運動学習や運動発達について学習する。						
担当講師	氏名 金ヶ江 光生		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容		授業時間
1	上肢帯の運動と筋活動	鎖骨、肩甲骨の運動と上肢帯筋の筋活動について学ぶ	2時間
2	肩関節の運動と筋活動	肩関節の運動と筋活動について学ぶ	2時間
3	肘関節、前腕の運動と筋活動	肘関節、前腕の運動と筋活動について学ぶ	2時間
4	手関節、手の運動と筋活動	手関節の運動と共同筋作用（筋活動）について学ぶ	2時間
5	股関節の運動と筋活動	股関節の運動と2関節筋の作用について学ぶ	2時間
6	膝関節の運動と筋活動	膝関節の運動と靭帯、半月板の作用について学ぶ	2時間
7	足関節と足部の運動と筋活動	足関節の運動と構造、筋の走行と作用について学ぶ	2時間
8	復習	上肢・下肢の構造と運動の理解度を確認する	2時間
9	頸椎の運動と筋活動	頸椎の構造と運動について学ぶ	2時間
10	胸椎や胸郭の運動	胸椎や胸郭の構造と運動について学ぶ	2時間
11	腰椎、仙椎および骨盤の運動	腰椎や仙椎および骨盤の構造や運動について学ぶ	2時間
12	姿勢、歩行時の筋活動	立位姿勢の重心線や歩行時の筋活動について学ぶ	2時間
13	運動発達と運動学習	運動発達の過程と反射、反応と運動学習について学ぶ	2時間
14	復習・まとめ試験	講義内容の理解度を評価する	2時間
15	解答・解説・総復習	試験内容について解説する	2時間
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

中間試験と科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

運動学 改訂第3版 全国柔道整復学学校協会監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	病理学 I		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	疾病における臓器・組織・細胞の形態変化の理解を深め、各疾患像を把握し理解するよう学習する。						
担当講師	氏名 柴田 恭明		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	1. 病理学とは、2. 疾病の一般	2時間
2	3. 細胞傷害（退行性病変、代謝障害）	2時間
3	3. 細胞傷害（退行性病変、代謝障害）	2時間
4	3. 細胞傷害（退行性病変、代謝障害）	2時間
5	4. 循環障害	2時間
6	4. 循環障害	2時間
7	4. 循環障害	2時間
8	5. 進行性病変（病的増殖）と細胞・組織の適応	2時間
9	5. 進行性病変（病的増殖）と細胞・組織の適応	2時間
10	5. 進行性病変（病的増殖）と細胞・組織の適応	2時間
11	6. 炎症	2時間
12	6. 炎症	2時間
13	6. 炎症	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

病理学概論 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	病理学Ⅱ			授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	疾病における臓器・組織・細胞の形態変化の理解を深め、各疾患像を把握し理解するよう学習する。						
担当講師	氏名 柴田 恭明			<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	7. 免疫異常、アレルギー	2時間
2	7. 免疫異常、アレルギー	2時間
3	7. 免疫異常、アレルギー	2時間
4	8. 腫瘍	2時間
5	8. 腫瘍	2時間
6	8. 腫瘍	2時間
7	8. 腫瘍	2時間
8	9. 先天性異常	2時間
9	9. 先天性異常	2時間
10	10. 病因	2時間
11	10. 病因	2時間
12	付 運動器の病理	2時間
13	付 運動器の病理	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

病理学概論 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	リハビリテーション医学Ⅰ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習			
授業概要	柔道整復師に必要なリハビリテーションの知識として、評価方法、治療指針、筋力維持・回復方法などを学習する。						
担当講師	氏名            金ヶ江 光生		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	1. リハビリテーションの概念と歴史、2. リハビリテーション医学	2時間
2	3. リハビリテーション医学の基礎医学	2時間
3	3. リハビリテーション医学の基礎医学：姿勢・歩行について	2時間
4	3. リハビリテーション医学の評価と診断（ROMテスト：上肢）	2時間
5	4. リハビリテーション医学の評価と診断（ROMテスト：下肢）	2時間
6	4. リハビリテーション医学の評価と診断（ROMテスト：体幹）	2時間
7	復習・まとめ	2時間
8	4. リハビリテーション医学の評価と診断：MMT	2時間
9	4. リハビリテーション医学の評価と診断：ブルンストロームステージ	2時間
10	4. リハビリテーション医学の評価と診断：小児運動発達・協調性テスト	2時間
11	4. リハビリテーション医学の評価と診断：高次脳機能評価	2時間
12	4. リハビリテーション医学の評価と診断：ADL評価	2時間
13	4. リハビリテーション医学の評価と診断	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

中間試験と科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

リハビリテーション医学 改訂第3版 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	リハビリテーション医学Ⅱ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	柔道整復師に必要なリハビリテーションの知識として、評価方法、治療指針、筋力維持・回復方法などを学習する。						
担当講師	氏名 金ヶ江 光生		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	5. リハビリテーションの治療	2時間
2	5. リハビリテーションの治療	2時間
3	5. リハビリテーションの治療	2時間
4	5. リハビリテーションの治療	2時間
5	5. リハビリテーションの治療	2時間
6	5. リハビリテーションの治療	2時間
7	復習・まとめ	2時間
8	6. リハビリテーション医学と関連職種	2時間
9	7. リハビリテーションの実際：脳卒中について	2時間
10	7. リハビリテーションの実際：脊髄損傷について	2時間
11	7. リハビリテーションの実際：小児疾患・切断について	2時間
12	7. リハビリテーションの実際：リウマチ・心疾患・呼吸器疾患について	2時間
13	8. リハビリテーションと福祉	2時間
14	復習・まとめ	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

中間試験と科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

リハビリテーション医学 改訂第3版 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程
科目名	一般臨床医学 I	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授業概要	柔道整復師ができる検査法や、早急に専門医に依頼した方が良い内科疾患を中心として、その疾患の概説・原因・徴候・診断・治療・予後を学習する。		
担当講師	氏名 江口 毅	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実務経験	町の開業医として勤務。。臨床現場の経験をもとに一般臨床医学の指導にあたる。		
時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける		
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授業の進め方	・板書による講義を中心とする。 ・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。		

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	1. 診察概論、2. 診察各論 (A 問診、B 視診)	2時間
2	2. 診察各論 (B 視診)	2時間
3	2. 診察各論 (B 視診)	2時間
4	2. 診察各論 (B 視診)	2時間
5	2. 診察各論 (B 視診)	2時間
6	2. 診察各論 (C 打診、D 聴診)	2時間
7	2. 診察各論 (D 聴診、E 触診)	2時間
8	2. 診察各論 (F 生命徴候、G 知覚検査)	2時間
9	2. 診察各論 (H 反射検査、I 代表的な臨床症状)、3. 検査法	2時間
10	4. 主要な疾患 (A 呼吸器疾患)	2時間
11	4. 主要な疾患 (A 呼吸器疾患)	2時間
12	4. 主要な疾患 (A 呼吸器疾患、B 循環器疾患)	2時間
13	4. 主要な疾患 (B 循環器疾患)	2時間
14	4. 主要な疾患 (B 循環器疾患)	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

中間・期末試験をそれぞれ50点満点で行い、合計60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「一般臨床医学 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程
科 目 名	一般臨床医学Ⅱ	授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	柔道整復師ができる検査法や、早急に専門医に依頼した方が良い内科疾患を中心として、その疾患の概説・原因・徴候・診断・治療・予後を学習する。		
担 当 講 師	氏 名            江 口   毅	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実 務 経 験	町の開業医として勤務。。臨床現場の経験をもとに一般臨床医学の指導にあたる。		
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位
学 習 時 期	学 年	2 年 生	期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門 <input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける		
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授 業 の 進 め 方	・板書による講義を中心とする。 ・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。		

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	4. 主要な疾患 (C 消化器疾患)	2時間
2	4. 主要な疾患 (C 消化器疾患、D 肝・胆・膵疾患)	2時間
3	4. 主要な疾患 (D 肝・胆・膵疾患)	2時間
4	4. 主要な疾患 (E 代謝・栄養疾患)	2時間
5	4. 主要な疾患 (E 代謝・栄養疾患、F 内分泌疾患)	2時間
6	4. 主要な疾患 (F 内分泌疾患)	2時間
7	4. 主要な疾患 (G 血液・造血器疾患)	2時間
8	4. 主要な疾患 (H 腎・尿路疾患)	2時間
9	4. 主要な疾患 (I 神経疾患)	2時間
10	4. 主要な疾患 (I 神経疾患)	2時間
11	4. 主要な疾患 (K リウマチ性疾患、アレルギー性疾患、免疫不全症)	2時間
12	4. 主要な疾患 (K リウマチ性疾患、アレルギー性疾患、免疫不全症)	2時間
13	4. 主要な疾患 (L 環境要因による疾患、J 感染症・性病)	2時間
14	4. 主要な疾患 (J 感染症・性病)	2時間
15	解答・解説・総復習	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

<b>成績評価の方法・基準</b> 中間・期末試験をそれぞれ50点満点で行い、合計60点以上を成績評価する。
---

<b>使用教材・参考文献等</b> 「一般臨床医学 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版
---

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程
科目名	外科学 I	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授業概要	柔道整復師に必要な外科学に関する基本的知識を学習し、業務の範囲内・外を素早く判断し、専門医に依頼できる能力を養う。		
担当講師	氏名            井手 貴治	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実務経験			
時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける		
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>		

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	総論〔外科学とは、1. 損傷（A 損傷）〕	2時間
2	1. 損傷〔B 創傷、C 熱傷〕	2時間
3	2. 炎症と外科感染症〔A 炎症、B 外科感染症〕	2時間
4	3. 腫瘍	2時間
5	3. 腫瘍 4. ショック	2時間
6	5. 輸血, 輸液	2時間
7	5. 輸血, 輸液 6. 消毒と滅菌	2時間
8	7. 手術	2時間
9	8. 麻酔	2時間
10	9. 移植と免疫	2時間
11	10. 出血と止血	2時間
12	11. 心肺蘇生法	2時間
13	総論の補足	2時間
14	復習・まとめ試験	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「外科学概論 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	外科学Ⅱ			授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	柔道整復師に必要な外科学に関する基本的な知識を学習し、業務の範囲内・外を素早く判断し、専門医に依頼できる能力を養う。						
担当講師	氏名 井手 貴治			<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	1 2. 脳神経外科疾患	2時間
2	1 2. 脳神経外科疾患	2時間
3	1 3. 甲状腺・頸部疾患	2時間
4	1 3. 甲状腺・頸部疾患、1 4. 胸壁・呼吸器疾患	2時間
5	1 4. 胸壁・呼吸器疾患	2時間
6	1 5. 心臓・脈管疾患	2時間
7	1 5. 心臓・脈管疾患	2時間
8	1 5. 心臓・脈管疾患	2時間
9	1 6. 乳腺疾患	2時間
10	1 7. 腹部外科疾患	2時間
11	1 7. 腹部外科疾患	2時間
12	1 7. 腹部外科疾患	2時間
13	各論の補足	2時間
14	復習・まとめ試験	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「外科学概論 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程
科目名	整形外科学Ⅰ	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授業概要	運動器の整形外科的診察法や検査法に関する基本的な知識を学習し、業務範囲内・外を素早く判断し、専門医に依頼できる能力を養う。		
担当講師	氏名            井手 貴治	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実務経験			
時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける		
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>		

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	整形外科とは、 1. 運動器の基礎知識	2時間
2	2. 整形外科診察法	2時間
3	3. 整形外科検査法	2時間
4	3. 整形外科検査法	2時間
5	4. 整形外科的治療法	2時間
6	4. 整形外科的治療法	2時間
7	5. 骨・関節損傷総論	2時間
8	5. 骨・関節損傷総論	2時間
9	6. スポーツ整形外科総論、 7. リハビリテーション総論	2時間
10	8. 疾患別各論〔A 感染性疾患〕	2時間
11	8. 疾患別各論〔B 骨および軟部腫瘍〕	2時間
12	8. 疾患別各論〔C 非感染性軟部・骨関節疾患〕	2時間
13	8. 疾患別各論〔D 全身性の骨・軟部疾患〕	2時間
14	復習・まとめ試験	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「整形外科学 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	整形外科学Ⅱ		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	運動器の整形外科的診察法や検査法に関する基本的な知識を学習し、業務範囲内・外を素早く判断し、専門医に依頼できる能力を養う。						
担当講師	氏名 井手 貴治		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	8. 疾患別各論〔E 骨端症〕	2時間
2	8. 疾患別各論〔F 四肢循環障害〕	2時間
3	8. 疾患別各論〔G 神経・筋疾患〕	2時間
4	9. 身体部位別各論〔A 体幹〕	2時間
5	9. 身体部位別各論〔A 体幹〕	2時間
6	9. 身体部位別各論〔B 上肢〕	2時間
7	9. 身体部位別各論〔B 上肢〕	2時間
8	9. 身体部位別各論〔B 上肢〕	2時間
9	9. 身体部位別各論〔B 上肢〕	2時間
10	9. 身体部位別各論〔C 下肢〕	2時間
11	9. 身体部位別各論〔C 下肢〕	2時間
12	9. 身体部位別各論〔C 下肢〕	2時間
13	9. 身体部位別各論〔C 下肢〕	2時間
14	復習・まとめ試験	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「整形外科学 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	公衆衛生学 I			授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	健康を阻害する要因を学習し、疫学・保健統計の意義を理解する。また医療従事者として地域保険に貢献するべく健康の保持・増進、普及活動を行えるよう学習す						
担当講師	氏名                    本川 渉			<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	衛生学・公衆衛生学の歴史と健康の概念	2時間
2	疾病予防と健康管理	2時間
3	感染症の予防	2時間
4	消毒	2時間
5	環境保健	2時間
6	母子保健	2時間
7	学校保健	2時間
8	産業保健	2時間
9	成人・老人保健	2時間
10	精神保健	2時間
11	生活環境・食品衛生活動	2時間
12	地域保険と国際保健/衛生行政と保健医療の制度	2時間
13	疫学	2時間
14	復習・まとめ試験	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

衛生学・公衆衛生学 改訂第6版 全国柔道整復学校協会監修 鈴木庄亮著 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程
科目名	公衆衛生学Ⅱ	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授業概要	健康を阻害する要因を学習し、疫学・保健統計の意義を理解する。また医療従事者として地域保険に貢献するべく健康の保持・増進、普及活動を行えるよう学習す		
担当講師	氏名                      本川 渉	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実務経験			
時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける		
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>		

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	衛生学総復習 1	2時間
2	衛生学総復習 2	2時間
3	衛生学総復習 3	2時間
4	衛生学総復習 4	2時間
5	衛生学総復習 5	2時間
6	衛生学総復習 6	2時間
7	衛生学総復習 7	2時間
8	衛生学総復習 8	2時間
9	衛生学総復習 9	2時間
10	衛生学総復習 10	2時間
11	衛生学総復習 11	2時間
12	衛生学総復習 12	2時間
13	衛生学総復習 13	2時間
14	復習・まとめ試験	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

<b>成績評価の方法・基準</b>  科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。
--

<b>使用教材・参考文献等</b>  衛生学・公衆衛生学 改訂第6版 全国柔道整復学校協会監修 鈴木庄亮著 南江堂
---

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	関係法規Ⅰ			授業方法	■ 講義 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復師として業務に従事するうえで必要な法規・法令を学習する。それにより柔道整復師法や他の医療関係の法を踏まえ、法令を順守する倫理観を養う。						
担当講師	氏名 山崎 悟			■ 実務経験を有する教員			
実務経験	整骨院の開業・経営の経験をもとに、関係法規の指導にあたる。						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	I 序論 1.法の意義,2.法の体系	2時間
2	I 序論 3.柔道整復師および柔道整復に関する法規,4.柔道整復師と患者の権利	2時間
3	I 序論 5.医療過誤とリスクマネジメント	2時間
4	II 柔道整復師法とその関連内容 A 第1章 総則,B第2章 免許 1.柔道整復師免許～2.免許を受けるための要件	2時間
5	II 柔道整復師法とその関連内容 B 第2章 免許 3.免許の申請～4.柔道整復師名簿	2時間
6	II 柔道整復師法とその関連内容 B 第2章 免許 5.免許の取消等～6.柔道整復師免許証及び柔道整復師免許証明書	2時間
7	II 柔道整復師法とその関連内容 B 第2章 免許 7.免許の書換え交付～9.免許証又は免許証明書の返納および提出	2時間
8	II 柔道整復師法とその関連内容 C 第3章 柔道整復師国家試験 1.試験の実施～2.合格証書と合格証明書	2時間
9	II 柔道整復師法とその関連内容 D 第4章 業務 1.業務の禁止～2.業務範囲	2時間
10	II 柔道整復師法とその関連内容 D 第4章 業務 3.秘密を守る義務～4.都道府県知事の指示	2時間
11	II 柔道整復師法とその関連内容 D 第4章 業務 5.緊急時における厚生労働大臣の事務執行	2時間
12	II 柔道整復師法とその関連内容 E 第5章 施術所 1.施術所の届出	2時間
13	II 柔道整復師法とその関連内容 E 第5章 施術所 2.施術所の構造設備等～3.施術所に対する監督	2時間
14	II 柔道整復師法とその関連内容 F 第6章 雑則 1.広告～2.経過措置の制定	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

関係法規 2022年版 全国柔道整復学校協会監修 医歯薬出版  
教科書P. 1 ～ 36 まで (36頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	関係法規Ⅱ			授業方法	■ 講義 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復師として業務に従事するうえで必要な法規・法令を学習する。それにより柔道整復師法や他の医療関係の法を踏まえ、法令を順守する倫理観を養う。						
担当講師	氏名 山崎 悟			■ 実務経験を有する教員			
実務経験	整骨院の開業・経営の経験をもとに、関係法規の指導にあたる。						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	Ⅱ 柔道整復師法とその関連内容 G 第 7 章 罰則 1. 罪刑法定主義	2 時間
2	Ⅱ 柔道整復師法とその関連内容 G 第 7 章 罰則 2. 柔道整復師法に定められる罰則～3. 両罰規定	2 時間
3	Ⅱ 柔道整復師法とその関連内容 H 第 8 章 指定登録機関及び指定試験機関 1. 指定登録機関～2. 指定試験機関	2 時間
4	Ⅱ 柔道整復師法とその関連内容 I 第 9 章 附則 1. 免許の特例～2. 受験資格の特例	2 時間
5	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 1. 医師法	2 時間
6	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 2. 歯科医師法	2 時間
7	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 3. 保健師助産師看護師法	2 時間
8	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 4. 診療放射線技師法	2 時間
9	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 5. 臨床検査技師等に関する法律	2 時間
10	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 6. 理学療法士及び作業療法士法	2 時間
11	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 7. 視能訓練士法～8. 言語聴覚士法	2 時間
12	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 9. 臨床工学技士法～10. 義肢装具士法	2 時間
13	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 11. 救急救命士法～12. 歯科衛生士法	2 時間
14	Ⅲ 関係法規 A 医療従事者の資格法 13. 歯科技工士法～14. 薬剤師法	2 時間
15	解答・解説	2 時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

関係法規 2021年版 全国柔道整復学校協会監修 医歯薬出版  
教科書P. 37 ～ 67 まで (31頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	関係法規Ⅲ			授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	柔道整復師として業務に従事するうえで必要な法規・法令を学習する。それにより柔道整復師法や他の医療関係の法を踏まえ、法令を順守する倫理観を養う。						
担当講師	氏名 山崎 悟			<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験	整骨院の勤務・開業・経営の経験をもとに、関係法規の指導にあたる。						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	Ⅲ 関係法規 B 医療法 1.医療法 第1章 総則	2時間
2	Ⅲ 関係法規 B 医療法 1.医療法 第2章 医療に関する選択の支援等	2時間
3	Ⅲ 関係法規 B 医療法 1.医療法 第3章 医療の安全の確保	2時間
4	Ⅲ 関係法規 B 医療法 1.医療法 第4章 病院,診療所及び助産所	2時間
5	Ⅲ 関係法規 B 医療法 1.医療法 第4章 病院,診療所及び助産所	2時間
6	Ⅲ 関係法規 B 医療法 1.医療法 第5章 医療提供体制の確保～附則	2時間
7	Ⅲ 関係法規 B 医療法 2.医療法施行令	2時間
8	Ⅲ 関係法規 C 社会福祉関係法規 1.社会福祉法～4.身体障害者福祉法	2時間
9	Ⅲ 関係法規 C 社会福祉関係法規 5.知的障害者福祉法～7.障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律	2時間
10	Ⅲ 関係法規 D 社会保険関係法規 1.健康保険法～2.国民健康保険法	2時間
11	Ⅲ 関係法規 D 社会保険関係法規 3.高齢者の医療の確保に関する法律	2時間
12	Ⅲ 関係法規 D 社会保険関係法規 4.介護保険法	2時間
13	Ⅲ 関係法規 D 社会保険関係法規 5.各共済組合法～6.労働者災害補償保険法	2時間
14	Ⅲ 関係法規 E その他の関係法規	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

関係法規 2021年版 全国柔道整復学校協会監修 医歯薬出版  
教科書P. 68 ～ 108 (40頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	柔道 I		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	精力善用・自他共栄の柔道精神を学習すると共に基本的な礼法・技法を習得し、健全な身体の育成と礼節をわきまえた人格の形成を行う。						
担当講師	氏名 桶谷 英司		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	柔道整復師として、当然持ち合わせるべき柔道の精神、体力、技の理合等を学習し、初段程度の技量の習得を目指す。						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	二人一組となり、講師の指示に従い実技を行う。						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	授業受講のきまり 柔道衣の取扱い 礼法	2時間
2	礼法、準備・補助運動、前受身、後受身	2時間
3	礼法、準備・補助運動、受身復習、横受身	2時間
4	礼法、準備・補助運動、受身復習、前回り受身	2時間
5	礼法、準備・補助運動、受身復習	2時間
6	礼法、準備・補助運動、受身復習	2時間
7	礼法、準備・補助運動、受身、固技（抑え技…袈裟固、肩固）	2時間
8	礼法、準備・補助運動、受身、固技（抑え技…横四方固）	2時間
9	礼法、準備・補助運動、受身、固技（抑え技…上四方固、縦四方固）	2時間
10	礼法、準備・補助運動、受身、固技（自由練習、入り方）	2時間
11	礼法、準備・補助運動、受身、固技（自由練習、入り方）	2時間
12	礼法、準備・補助運動、受身、投技（基本動作）	2時間
13	礼法、準備・補助運動、受身、投技（基本動作）	2時間
14	総復習	2時間
15	復習・実技評価	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時の試験・授業態度・出席状況（見学含む）により総合的に評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道指導の手引き 文部科学省 柔道の安全指導 財団法人全日本柔道連盟

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程			
科目名	柔道Ⅱ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習	
授業概要	精力善用・自他共栄の柔道精神を学習すると共に基本的な礼法・技法を習得し、健全な身体の育成と礼節をわきまえた人格の形成を行う。						
担当講師	氏名 桶谷 英司		<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員				
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	柔道整復師として、当然持ち合わせるべき柔道の精神、体力、技の理合等を学習し、初段程度の技量の習得を目指す。						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	二人一組となり、講師の指示に従い実技を行う。						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	礼法、準備・補助運動、受身復習、投技（基本動作復習）	2時間
2	礼法、準備・補助運動、受身、投技（膝車、支釣込足）	2時間
3	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、体落）	2時間
4	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、大腰）	2時間
5	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習）	2時間
6	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、大外刈）	2時間
7	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、背負投、一本背負投）	2時間
8	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、小内刈、大内刈）	2時間
9	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習 連続技）	2時間
10	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、自由練習）	2時間
11	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、自由練習）、固技（絞技）	2時間
12	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、自由練習）、固技（関節技）	2時間
13	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、自由練習）、固技（自由練習）	2時間
14	総復習	2時間
15	復習・実技評価	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時の試験・授業態度・出席状況（見学含む）により総合的に評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道指導の手引き 文部科学省 柔道の安全指導 財団法人全日本柔道連盟

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	柔道Ⅲ			授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	精力善用・自他共栄の柔道精神を学習すると共に基本的な礼法・技法を習得し、健全な身体の育成と礼節をわきまえた人格の形成を行う。						
担当講師	氏名 桶谷 英司			<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	柔道整復師として、当然持ち合わせるべき柔道の精神、体力、技の理合等を学習し、初段程度の技量の習得を目指す。						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	二人一組となり、講師の指示に従い実技を行う。						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	礼法、準備・補助運動、受身、投技既習技復習	2時間
2	礼法、準備・補助運動、受身、投技（釣込腰）	2時間
3	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、払腰、内股）	2時間
4	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、送足払、出足払）	2時間
5	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、連絡技）	2時間
6	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、連絡技）	2時間
7	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、連絡技、自由練習）	2時間
8	礼法、準備・補助運動、受身、投技（既習技復習、連絡技、自由練習）	2時間
9	礼法、準備・補助運動、受身、固技（自由練習）投技（復習、連絡技、自由練習）	2時間
10	礼法、準備・補助運動、受身、固技（自由練習）投技（復習、連絡技、自由練習）	2時間
11	礼法、準備・補助運動、受身、固技（自由練習）投技（復習、連絡技、自由練習）	2時間
12	礼法、準備・補助運動、受身、固技（自由練習）投技（復習、連絡技、自由練習）	2時間
13	礼法、準備・補助運動、受身、固技（自由練習）投技（復習、連絡技、自由練習）	2時間
14	総復習	2時間
15	復習・実技評価	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時の試験・授業態度・出席状況（見学含む）により総合的に評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道指導の手引き 文部科学省 柔道の安全指導 財団法人全日本柔道連盟

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科			専門課程	医療専門課程		
科目名	柔道Ⅳ			授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	精力善用・自他共栄の柔道精神を学習すると共に基本的な礼法・技法を習得し、健全な身体の育成と礼節をわきまえた人格の形成を行う。						
担当講師	氏名 桶谷 英司			<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実務経験							
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	3 年生	期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択			
到達目標	柔道整復師として、当然持ち合わせるべき柔道の精神、体力、技の理合等を学習し、初段程度の技量の習得を目指す。						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	二人一組となり、講師の指示に従い実技を行う。						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(手技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
2	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(手技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
3	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(手技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
4	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(手技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
5	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(腰技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
6	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(腰技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
7	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(腰技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
8	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(腰技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
9	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(足技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
10	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(足技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
11	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(足技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
12	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(足技)、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
13	礼法、準備・補助運動、受身、投の形、投技(既習技復習、連続技、自由練習)	2時間
14	総復習	2時間
15	復習・実技評価	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時の試験・授業態度・出席状況（見学含む）により総合的に評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道指導の手引き 文部科学省 柔道の安全指導 財団法人全日本柔道連盟

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	柔道Ⅴ	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	精力善用・自他共栄の柔道精神を学習すると共に基本的な礼法・技法を習得し、健全な身体の育成と礼節をわきまえた人格の形成を行う。				
担 当 講 師	氏名 桶谷 英司	<input type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験					
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年 3 年生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択		
到 達 目 標	柔道整復師として、当然持ち合わせるべき柔道の精神、体力、技の理合等を学習し、初段程度の技量の習得を目指す。				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	二人一組となり、講師の指示に従い実技を行う。				

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(手技)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
2	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(手技)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
3	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(手技)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
4	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(腰技)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
5	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(腰技)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
6	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(腰技)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
7	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(足技)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
8	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(足技)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
9	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(足技)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
10	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(総復習)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
11	礼法、準備・補助運動、受身、投の形(総復習)、投技(復習、連続技、自由練習)	2時間
12	礼法、準備・補助運動、受身、認定実技審査概要説明	2時間
13	礼法、準備・補助運動、受身、認定実技審査概要説明	2時間
14	総復習	2時間
15	認定実技柔道予行練習、実技評価	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時の試験・授業態度・出席状況（見学含む）により総合的に評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道指導の手引き 文部科学省 柔道の安全指導 財団法人全日本柔道連盟

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	基礎柔道整復学総論 I		授業方法	■ 講義 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復学を学習するうえでの基礎的な単語の意味や定義などを学習する。また各組織の損傷や診察方法及びその整復・固定・後療法や指導管理なども学習する。					
担当講師	氏名 桶谷 英司		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	・板書による講義を中心とする。 ・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅱ章 総論 1 人体に加わる力,2 損傷時に加わる力,3 痛みの基礎 A 痛みの種類,B 痛みのメカニズム (運動器)	2時間
2	第Ⅱ章 総論 3 痛みの基礎 C 急性痛と慢性痛,D 痛みの評価,E 痛みへのアプローチ	2時間
3	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 A・骨の形態と機能,B・骨損傷の概説	2時間
4	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 C・骨折の分類 1 骨の性状による分類,2 骨損傷の程度による分類	2時間
5	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 C・骨折の分類 3 骨折線の方向による分類	2時間
6	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 C・骨折の分類 4 骨折部と外創との交通の有無による分類,5 骨折の数	2時間
7	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 C・骨折の分類 6 外力の働いた部位による分類	2時間
8	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 C・骨折の分類 7 外力の働き方による分類	2時間
9	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 C・骨折の分類 8 骨折の部位による分類,9 骨折の経過	2時間
10	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 D・骨折の症状 1 骨折時の局所症状 a.一般外傷症状	2時間
11	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 D・骨折の症状 1 骨折時の局所症状 b.骨折の固有症状	2時間
12	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 D・骨折の症状 2 骨折時の全身症状 a.ショック,b.発熱 (吸収熱)	2時間
13	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 E・骨折の合併症 □1 併発症 □2 続発症	2時間
14	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 E・骨折の合併症 □3 後遺症	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 12 ~ 39 まで (28頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	基礎柔道整復学総論Ⅱ		授業方法	■ 講義 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復学を学習するうえでの基礎的な単語の意味や定義などを学習する。また各組織の損傷や診察方法及びその整復・固定・後療法や指導管理なども学習する。					
担当講師	氏名 碓 涼太		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	・板書による講義を中心とする。 ・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 F・小児骨折,高齢者骨折 1 小児骨折 2 高齢者骨折	2時間
2	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-1.骨の損傷 G・骨折の癒合日数H・骨折の治癒過程 I・骨折の予後J・骨折の治癒に影響を与える因子	2時間
3	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 A・関節の構造と機能 1 関節の構造~2 関節構成組織	2時間
4	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 A・関節の構造と機能 2 関節構成組織 e. 関節円板または関節半月~3 関節の潤滑	2時間
5	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 B・関節損傷の概説~D・関節構成組織損傷	2時間
6	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 関節の損傷 E・脱臼（脛脱臼を除く） 1 定義と概説~	2時間
7	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 E・脱臼（脛脱臼を除く）3脱臼の分類 b 脱臼の程度による分類~	2時間
8	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 E・脱臼（脛脱臼を除く）3脱臼の分類 g 脱臼の発生時期による分類~	2時間
9	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 E・脱臼（脛脱臼を除く） 4 脱臼の症状,5 脱臼の合併症	2時間
10	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 E・脱臼（脛脱臼を除く） 6 脱臼の整復障害,7 脱臼の経過と予後	2時間
11	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 F・関節構成組織損傷	2時間
12	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 F-1.靭帯, 関節包の損傷 1 分類と症状~4 経過と予後	2時間
13	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 F-2. 関節周囲を通過あるいは起始停止する筋・腱の損傷~F-3.4 症状	2時間
14	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-2.関節の損傷 F-3.5 合併症~	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 39 ~ 64 (26頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	基礎柔道整復学総論Ⅲ		授 業 方 法	■ 講義    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復学を学習するうえでの基礎的な単語の意味や定義などを学習する。また各組織の損傷や診察方法及びその整復・固定・後療法や指導管理なども学習する。					
担 当 講 師	氏 名	山崎 悟		■ 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年	1 年 生 期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般		履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける					
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 板書による講義を中心とする。</li> <li>・ プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-3.筋の損傷 A・筋の構造と機能 1 筋の構造～4筋線維の種類	2時間
2	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-3.筋の損傷 B・筋損傷の概説 1筋損傷を起こす力～C・筋損傷の分類 2筋損傷の程度による分類	2時間
3	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-3.筋の損傷 C・筋損傷の分類 3筋損傷の部位による分類, 4外力の働いた部位による分類	2時間
4	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-3.筋の損傷 C・筋損傷の分類 5外力の働き方による分類, 6筋損傷部と創部との交通の有無による分類	2時間
5	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-3.筋の損傷 D・筋損傷の症状～F・筋損傷の予後	2時間
6	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-4.腱の損傷 A・腱の構造と機能 1 腱の構造, 2 腱の補助装置	2時間
7	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-4.腱の損傷 B・腱損傷の概説 1 腱損傷を起こす力～C・腱損傷の分類 1 腱の性状による分類	2時間
8	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-4.腱の損傷 C・腱損傷の分類 2 腱損傷の程度による分類～3 腱損傷部位による分類	2時間
9	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-4.腱の損傷 C・腱損傷の分類 4 外力の働いた部位による分類～5 外力の働き方による分類	2時間
10	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-4.腱の損傷 D・腱損傷の症状～E・腱損傷の治癒機序	2時間
11	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-5.末梢神経の損傷 A・神経の構造と機能 ～C・神経損傷の分類	2時間
12	第Ⅱ章 総論 4 各組織の損傷 4-5.末梢神経の損傷 D・末梢神経の症状, E・末梢神経損傷の治癒過程	2時間
13	第Ⅱ章 総論 5 診察 A・診察時の注意点～B・診察手順の概説	2時間
14	第Ⅱ章 総論 5 診察 C・診察の時期による分類～E・施術録の扱いと記載	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 64 ～ 87まで (24頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	基礎柔道整復学総論Ⅳ		授 業 方 法	■ 講義    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復学を学習するうえでの基礎的な単語の意味や定義などを学習する。また各組織の損傷や診察方法及びその整復・固定・後療法や指導管理なども学習する。					
担 当 講 師	氏 名	碓 涼太		■ 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年	1 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般		履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける					
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 板書による講義を中心とする。</li> <li>・ プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-1. 整復法 A・徒手整復施行時の配慮、B・骨折の整復法	2時間
2	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-1. 整復法 C・脱臼の整復法～E・軟部組織損傷の初期処置	2時間
3	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-2. 固定法 A・固定施行時の配慮 1 固定の目的～3 固定の範囲	2時間
4	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-2. 固定法 A・固定施行時の配慮 4 固定の肢位～6 固定の材料	2時間
5	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-2. 固定法 A・固定施行時の配慮 4 固定の肢位～6 固定の材料	2時間
6	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-2. 固定法 B・固定後の配慮 □1 全身的～□9 固定除去時	2時間
7	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-2. 固定法 B・固定後の配慮 □1 全身的～□9 固定除去時	2時間
8	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3. 後療法 A・用量～C・手技療法	2時間
9	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3. 後療法 A・用量～C・手技療法	2時間
10	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3. 後療法 A・用量～C・手技療法	2時間
11	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3. 後療法 D・運動療法 1 運動の基本型	2時間
12	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3. 後療法 D・運動療法 1 運動の基本型	2時間
13	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3. 後療法 D・運動療法 2 運動療法の種類 3 実際	2時間
14	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3. 後療法 D・運動療法 2 運動療法の種類 3 実際	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 88 ～ 109 (22頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	基礎柔道整復学総論Ⅴ		授 業 方 法	■ 講義    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復学を学習するうえでの基礎的な単語の意味や定義などを学習する。また各組織の損傷や診察方法及びその整復・固定・後療法や指導管理なども学習する。					
担 当 講 師	氏 名	碓 涼太		■ 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年	1 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般		履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける					
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 板書による講義を中心とする。</li> <li>・ プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3.後療法 E・物理療法 1 分類～3 主な物理療法 a.電気療法	2時間
2	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3.後療法 E・物理療法 3 主な物理療法b.温熱療法 b-1.伝導熱療法～b-3.変換熱療法	2時間
3	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3.後療法 E・物理療法 3 主な物理療法b.温熱療法 b-1.伝導熱療法～b-3.変換熱療法	2時間
4	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3.後療法 E・物理療法 3 主な物理療法c.光線療法～f.その他	2時間
5	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-3.後療法 E・物理療法 3 主な物理療法c.光線療法～f.その他	2時間
6	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-4.指導管理	2時間
7	第Ⅱ章 総論 6 治療法 6-4.指導管理	2時間
8	第Ⅱ章 総論 7 外傷予防 7-1.第1段階 A・運動機能向上と教育活動 1 身体の基礎的状態の評価と対応～3 外傷予防啓発などの教育活動	2時間
9	第Ⅱ章 総論 7 外傷予防 7-1.第1段階 A・運動機能向上と教育活動 1 身体の基礎的状態の評価と対応～3 外傷予防啓発などの教育活動	2時間
10	第Ⅱ章 総論 7 外傷予防 7-1.第1段階 4メンタルヘルス（心の健康）を保つ活動～B・特異的予防	2時間
11	第Ⅱ章 総論 7 外傷予防 7-1.第1段階 4メンタルヘルス（心の健康）を保つ活動～B・特異的予防	2時間
12	第Ⅱ章 総論 7 外傷予防 7-1.第1段階 4メンタルヘルス（心の健康）を保つ活動～B・特異的予防	2時間
13	第Ⅱ章 総論 7 外傷予防 7-2.第二段階：早期発見,早期治療～7-3.第三段階	2時間
14	第Ⅱ章 総論 7 外傷予防 7-2.第二段階：早期発見,早期治療～7-3.第三段階	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 109 ～ 145 まで (37頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復学 I - ①		授業方法	■ 講義    □ 実技    □ 実習		
授業概要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い頭部・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷について解剖学的な部分も含め学習する。					
担当講師	氏名	大平 太郎		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生 期
科目区分	■ 専門    □ 一般		履修区分	■ 必修    □ 選択    □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 A・頭部,顔面部の骨折	2時間
2	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 A・頭部,顔面部の骨折	2時間
3	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 B・頸椎の骨折	2時間
4	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 B・頸椎の骨折	2時間
5	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 B・頸椎の骨折	2時間
6	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 C・胸椎の骨折	2時間
7	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 C・胸椎の骨折	2時間
8	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 C・胸椎の骨折	2時間
9	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 D・腰椎の骨折	2時間
10	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 D・腰椎の骨折	2時間
11	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 D・腰椎の骨折	2時間
12	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 E・胸部の骨折	2時間
13	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 E・胸部の骨折	2時間
14	第三章 各論 1 頭部,体幹 1-1 頭部,体幹の骨折 E・胸部の骨折	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 148 ~ 173 まで (26頁)

# 授業計画表 (シラバス)

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	臨床柔道整復学 I - ②		授業方法	■ 講義 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い頭部・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷について解剖学的な部分も含め学習する。					
担当講師	氏名	大平 太郎		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅲ章 各論 2 脱臼 2-1.頭部、顔面の脱臼 A・顎関節脱臼	2時間
2	第Ⅲ章 各論 2 脱臼 2-1.頭部、顔面の脱臼 B・頸椎脱臼	2時間
3	第Ⅲ章 各論 2 脱臼 2-1.頭部、顔面の脱臼 C・胸椎脱臼	2時間
4	第Ⅲ章 各論 2 脱臼 2-1.頭部、顔面の脱臼 D・腰椎脱臼	2時間
5	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 A・頭部、顔面部の軟部組織損傷	2時間
6	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 A・頭部、顔面部の軟部組織損傷	2時間
7	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 B・頸部の軟部組織損傷	2時間
8	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 B・頸部の軟部組織損傷	2時間
9	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 B・頸部の軟部組織損傷	2時間
10	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 C・胸・背部の軟部組織損傷	2時間
11	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 C・胸・背部の軟部組織損傷	2時間
12	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 C・胸・背部の軟部組織損傷	2時間
13	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 D・腰部の軟部組織損傷	2時間
14	第Ⅲ章 各論 3 軟部組織損傷 3-1.頭部、体幹の軟部組織損傷 D・腰部の軟部組織損傷	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 293 ~ 299まで (7頁) P. 337 ~ 349まで (13頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復学Ⅱ - ①		授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い上肢の骨折について解剖学的な部分も含め学習する。					
担 当 講 師	氏 名	山崎 悟		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年	1 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門 <input type="checkbox"/> 一 般		履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける					
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 A・鎖骨骨折	2時間
2	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 A・鎖骨骨折	2時間
3	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 A・鎖骨骨折	2時間
4	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 B・肩甲骨骨折	2時間
5	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 B・肩甲骨骨折	2時間
6	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 B・肩甲骨骨折	2時間
7	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 C・上腕骨近位部の骨折	2時間
8	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 C・上腕骨近位部の骨折	2時間
9	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 C・上腕骨近位部の骨折	2時間
10	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 C・上腕骨近位部の骨折	2時間
11	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 D・上腕骨骨幹部骨折	2時間
12	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 D・上腕骨骨幹部骨折	2時間
13	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 D・上腕骨骨幹部骨折	2時間
14	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 D・上腕骨骨幹部骨折	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 174 ~ 192まで (19頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	臨床柔道整復学Ⅱ - ②		授業方法	■ 講義    □ 実技    □ 実習		
授業概要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い上肢の骨折について解剖学的な部分も含め学習する。					
担当講師	氏名	碓 涼太		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生 期
科目区分	■ 専門    □ 一般		履修区分	■ 必修    □ 選択    □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 E・上腕骨遠位部の骨折	2時間
2	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 E・上腕骨遠位部の骨折	2時間
3	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 E・上腕骨遠位部の骨折	2時間
4	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 E・上腕骨遠位部の骨折	2時間
5	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 E・上腕骨遠位部の骨折	2時間
6	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 E・上腕骨遠位部の骨折	2時間
7	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 F・前腕骨近位部の骨折	2時間
8	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 F・前腕骨近位部の骨折	2時間
9	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 F・前腕骨近位部の骨折	2時間
10	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 F・前腕骨近位部の骨折	2時間
11	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 F・前腕骨近位部の骨折	2時間
12	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 F・前腕骨近位部の骨折	2時間
13	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 G・前腕骨骨幹部骨折	2時間
14	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 G・前腕骨骨幹部骨折 橈骨骨幹部骨折まで	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂教科書P. 193 ~ 210まで (18頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復学Ⅱ - ③		授 業 方 法	■ 講義    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い上肢の骨折について解剖学的な部分も含め学習する。					
担 当 講 師	氏 名	桶谷 英司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年	2 年 生 期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般		履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける					
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 G・前腕骨骨幹部骨折 ガレアジ骨折～	2時間
2	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 G・前腕骨骨幹部骨折	2時間
3	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 G・前腕骨骨幹部骨折	2時間
4	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 G・前腕骨骨幹部骨折	2時間
5	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 G・前腕骨骨幹部骨折	2時間
6	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 G・前腕骨骨幹部骨折	2時間
7	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 G・前腕骨骨幹部骨折	2時間
8	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 H・前腕骨遠位端部骨折	2時間
9	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 H・前腕骨遠位端部骨折	2時間
10	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 H・前腕骨遠位端部骨折	2時間
11	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 H・前腕骨遠位端部骨折	2時間
12	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 H・前腕骨遠位端部骨折	2時間
13	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 I・手根骨部の骨折	2時間
14	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 I・手根骨部の骨折 三角骨骨折まで	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 210 ～ 228 まで (19頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復学Ⅲ - ①		授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い上肢の脱臼について解剖学的な部分も含め学習する。					
担 当 講 師	氏 名	山崎 悟		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年	2 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門 <input type="checkbox"/> 一 般		履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける					
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 I・手根骨部の骨折 有鉤骨骨折から	2時間
2	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 I・手根骨部の骨折	2時間
3	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 I・手根骨部の骨折	2時間
4	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 I・手根骨部の骨折	2時間
5	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 J・中手骨部の骨折	2時間
6	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 J・中手骨部の骨折	2時間
7	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 J・中手骨部の骨折	2時間
8	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 J・中手骨部の骨折	2時間
9	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 J・中手骨部の骨折	2時間
10	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 K・指骨の骨折	2時間
11	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 K・指骨の骨折	2時間
12	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 K・指骨の骨折	2時間
13	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 K・指骨の骨折	2時間
14	第Ⅲ章 各論 1 1-2.上肢の骨折 K・指骨の骨折	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 228 ~ 244まで (17頁)

# 授業計画表 (シラバス)

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	臨床柔道整復学Ⅳ - ①		授業方法	■ 講義 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い上肢の軟部組織損傷について解剖学的な部分も含め学習する。					
担当講師	氏名	大平 太郎		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 A・鎖骨の脱臼	2時間
2	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 A・鎖骨の脱臼	2時間
3	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 B・肩関節脱臼	2時間
4	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 B・肩関節脱臼	2時間
5	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 B・肩関節脱臼	2時間
6	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 C・肘関節の脱臼	2時間
7	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 C・肘関節の脱臼	2時間
8	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 D・手関節部の脱臼	2時間
9	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 D・手関節部の脱臼	2時間
10	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 D・手関節部の脱臼	2時間
11	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 E・手根中手関節の脱臼	2時間
12	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 E・手根中手関節の脱臼	2時間
13	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 F・中手指節関節、指節間関節の脱臼	2時間
14	第Ⅲ章 各論 2 2-1.上肢の脱臼 F・中手指節関節、指節間関節の脱臼	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 300 ~ 324 Fまで (25頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	臨床柔道整復学Ⅳ - ②		授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授業概要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い下肢の骨折について解剖学的な部分も含め学習する。					
担当講師	氏名	碓 涼太		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般		履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 A・肩関節部の軟部組織損傷	2時間
2	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 A・肩関節部の軟部組織損傷	2時間
3	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 A・肩関節部の軟部組織損傷	2時間
4	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 A・肩関節部の軟部組織損傷	2時間
5	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 A・肩関節部の軟部組織損傷	2時間
6	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 B・上腕部の軟部組織損傷	2時間
7	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 B・上腕部の軟部組織損傷	2時間
8	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 B・上腕部の軟部組織損傷	2時間
9	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 B・上腕部の軟部組織損傷	2時間
10	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 B・上腕部の軟部組織損傷	2時間
11	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 C・肘関節部の軟部組織損傷	2時間
12	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 C・肘関節部の軟部組織損傷	2時間
13	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 C・肘関節部の軟部組織損傷	2時間
14	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 C・肘関節部の軟部組織損傷	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 350 ~ 365 まで (16頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	臨床柔道整復学Ⅴ - ①		授業方法	■ 講義 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い下肢の骨折について解剖学的な部分も含め学習する。					
担当講師	氏名	伏見 直哉		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 D・前腕部の軟部組織損傷	2時間
2	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 D・前腕部の軟部組織損傷	2時間
3	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 D・前腕部の軟部組織損傷	2時間
4	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 D・前腕部の軟部組織損傷	2時間
5	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 E・手関節部の軟部組織損傷	2時間
6	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 E・手関節部の軟部組織損傷	2時間
7	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 E・手関節部の軟部組織損傷	2時間
8	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 E・手関節部の軟部組織損傷	2時間
9	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 E・手関節部の軟部組織損傷	2時間
10	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 F・手部、指部の軟部組織損傷	2時間
11	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 F・手部、指部の軟部組織損傷	2時間
12	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 F・手部、指部の軟部組織損傷	2時間
13	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 F・手部、指部の軟部組織損傷	2時間
14	第Ⅲ章 各論 3 3-2.上肢の軟部組織損傷 F・手部、指部の軟部組織損傷	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂教科書P. 365 ~ 379まで (15頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	臨床柔道整復学Ⅴ - ②		授業方法	■ 講義 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い下肢の骨折について解剖学的な部分も含め学習する。					
担当講師	氏名 碓 涼太		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 A・骨盤骨骨折	2時間
2	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 A・骨盤骨骨折	2時間
3	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 A・骨盤骨骨折	2時間
4	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 A・骨盤骨骨折	2時間
5	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 A・骨盤骨骨折	2時間
6	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 A・骨盤骨骨折	2時間
7	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 A・骨盤骨骨折	2時間
8	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折	2時間
9	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折	2時間
10	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折	2時間
11	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折	2時間
12	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折	2時間
13	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折	2時間
14	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂教科書P. 245 ~ 261 a. 大腿骨顆上骨折まで (16頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復学Ⅵ - ①		授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い下肢の骨折・脱臼について解剖学的な部分も含め学習する。					
担 当 講 師	氏 名	伏見 直哉		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年	3 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門 <input type="checkbox"/> 一 般		履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける					
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折 b.大腿骨遠位骨端線離開～	2時間
2	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折	2時間
3	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 B・大腿骨骨折	2時間
4	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 C・膝蓋骨骨折	2時間
5	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 C・膝蓋骨骨折	2時間
6	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
7	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
8	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
9	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
10	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
11	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
12	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
13	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
14	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 261 ~ 277 d. 下腿骨疲労骨折まで (16頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復学Ⅵ - ②	授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い下肢の脱臼について解剖学的な部分も含め学習する。				
担 当 講 師	氏 名 大平 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年 3 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門 <input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折 下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折～	2時間
2	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
3	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
4	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
5	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
6	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
7	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 D・下腿骨骨折	2時間
8	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 E・足・足指（趾）骨折	2時間
9	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 E・足・足指（趾）骨折	2時間
10	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 E・足・足指（趾）骨折	2時間
11	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 E・足・足指（趾）骨折	2時間
12	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 E・足・足指（趾）骨折	2時間
13	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 E・足・足指（趾）骨折	2時間
14	第Ⅲ章 各論 1 1-3.下肢の骨折 E・足・足指（趾）骨折	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 278 ～ 292 まで (15頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	臨床柔道整復学Ⅶ - ①		授業方法	■ 講義    □ 実技    □ 実習		
授業概要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い下肢の軟部組織損傷について解剖学的な部分も含め学習する。					
担当講師	氏名	桶谷 英司		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生 期
科目区分	■ 専門    □ 一般		履修区分	■ 必修    □ 選択    □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	第Ⅲ章 各論 1 2-3.下肢の脱臼 A・股関節脱臼	2時間
2	第Ⅲ章 各論 1 2-3.下肢の脱臼 A・股関節脱臼	2時間
3	第Ⅲ章 各論 1 2-3.下肢の脱臼 B・膝蓋骨脱臼	2時間
4	第Ⅲ章 各論 1 2-3.下肢の脱臼 B・膝蓋骨脱臼	2時間
5	第Ⅲ章 各論 1 2-3.下肢の脱臼 C・膝関節脱臼	2時間
6	第Ⅲ章 各論 1 2-3.下肢の脱臼 C・膝関節脱臼	2時間
7	第Ⅲ章 各論 1 2-3.下肢の脱臼 D・足部の脱臼	2時間
8	第Ⅲ章 各論 1 2-3.下肢の脱臼 D・足部の脱臼	2時間
9	第Ⅲ章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 A・股関節の軟部組織損傷	2時間
10	第Ⅲ章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 A・股関節の軟部組織損傷	2時間
11	第Ⅲ章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 A・股関節の軟部組織損傷	2時間
12	第Ⅲ章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 B・大腿部の軟部組織損傷	2時間
13	第Ⅲ章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 B・大腿部の軟部組織損傷	2時間
14	第Ⅲ章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 B・大腿部の軟部組織損傷	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 325 ~ 336 (12頁) P380 ~ 386 まで (7頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復学Ⅶ - ②		授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の臨床の現場で遭遇する機会の多い下肢の軟部組織損傷について解剖学的な部分も含め学習する。					
担 当 講 師	氏 名	伏見 直哉		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年	3 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門 <input type="checkbox"/> 一 般		履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける					
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書による講義を中心とする。</li> <li>・プロジェクターを用いて視覚的効果の高い授業を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 C・膝関節部の軟部組織損傷	2時間
2	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 C・膝関節部の軟部組織損傷	2時間
3	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 C・膝関節部の軟部組織損傷	2時間
4	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 D・下腿部の軟部組織損傷	2時間
5	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 D・下腿部の軟部組織損傷	2時間
6	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 D・下腿部の軟部組織損傷	2時間
7	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 D・下腿部の軟部組織損傷	2時間
8	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 E・足関節部の軟部組織損傷	2時間
9	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 E・足関節部の軟部組織損傷	2時間
10	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 E・足関節部の軟部組織損傷	2時間
11	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 E・足関節部の軟部組織損傷	2時間
12	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 F・足・趾部の軟部組織損傷	2時間
13	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 F・足・趾部の軟部組織損傷	2時間
14	第三章 各論 1 3-3.下肢の軟部組織損傷 F・足・趾部の軟部組織損傷	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学・理論編 改訂第7版/実技編 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂  
教科書P. 386 ~ 406まで (21頁)

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	基礎柔道整復実技 I		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	基本包帯法（環行・らせん・亀甲・蛇行・折転・麦穂帯）を学習し、修得する。 固定に必要な副子・枕子・装具などの作成を行う。					
担当講師	氏名	中嶋 真司		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	各部位に応じた包帯法が施行できるようになる。					
準備学習の内容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授業の進め方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	包帯について、名称、種類、巻き方と注意事項	2時間
2	環行帯、螺旋帯、蛇行帯、折転帯、亀甲帯、麦穂帯	2時間
3	環行帯、螺旋帯、蛇行帯、折転帯、亀甲帯、麦穂帯	2時間
4	環行帯、螺旋帯、蛇行帯、折転帯、亀甲帯、麦穂帯	2時間
5	不全指帯、全指帯、指頭ほうか帯、総指ほうか帯	2時間
6	不全指帯、全指帯、指頭ほうか帯、総指ほうか帯	2時間
7	不全指帯、全指帯、指頭ほうか帯、総指ほうか帯	2時間
8	冠名包帯法（ヴェルポー）	2時間
9	冠名包帯法（ヴェルポー）	2時間
10	冠名包帯法（ジュール）	2時間
11	冠名包帯法（ジュール）	2時間
12	冠名包帯法（デゾー）	2時間
13	冠名包帯法（デゾー）	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編） 柔道整復学（実技編） 包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	基礎柔道整復実技Ⅱ		授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	基本包帯法（環行・らせん・亀甲・蛇行・折転・麦穂帯）を学習し、修得する。 固定に必要な副子・枕子・装具などの作成を行う。					
担 当 講 師	氏 名	伏見 直哉		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年	1 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到 達 目 標	各部位に応じた包帯法が施行できるようになる。					
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	厚紙副子・クラーメル副子作成	2時間
2	厚紙副子・クラーメル副子作成	2時間
3	厚紙副子・クラーメル副子作成	2時間
4	膝関節内側側副靭帯損傷〔Xサポートテープ固定〕	2時間
5	膝関節内側側副靭帯損傷〔Xサポートテープ固定〕	2時間
6	膝関節内側側副靭帯損傷〔Xサポートテープ固定〕	2時間
7	足関節外側靭帯損傷〔バスケットウィーブテープ固定〕	2時間
8	足関節外側靭帯損傷〔バスケットウィーブテープ固定〕	2時間
9	足関節外側靭帯損傷〔バスケットウィーブテープ固定〕	2時間
10	足関節外側靭帯損傷〔フィギュアエイト・ヒールロック〕	2時間
11	足関節外側靭帯損傷〔フィギュアエイト・ヒールロック〕	2時間
12	足関節外側靭帯損傷〔フィギュアエイト・ヒールロック〕	2時間
13	足関節外側靭帯損傷〔フィギュアエイト・ヒールロック〕	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	基礎柔道整復実技Ⅲ		授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	基本包帯法（環行・らせん・亀甲・蛇行・折転・麦穂帯）を学習し、修得する。 固定に必要な副子・枕子・装具などの作成を行う。					
担 当 講 師	氏 名	伏見 直哉		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年	1 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到 達 目 標	各部位に応じた包帯法が施行できるようになる。					
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	鎖骨定型的骨折〔転位のある定型的骨折〕【整復法】	2時間
2	鎖骨定型的骨折〔転位のある定型的骨折〕【整復法】	2時間
3	鎖骨定型的骨折〔転位のある定型的骨折〕【整復法】	2時間
4	鎖骨骨折〔リング固定又は8字帯若しくはSayreテープ固定〕	2時間
5	鎖骨骨折〔リング固定又は8字帯若しくはSayreテープ固定〕	2時間
6	上腕骨外科頸骨折〔転位のある外転型骨折〕【整復法】	2時間
7	上腕骨外科頸骨折〔転位のある外転型骨折〕【整復法】	2時間
8	上腕骨外科頸骨折〔転位のある外転型骨折〕【整復法】	2時間
9	コーレス骨折；【牽引直圧整復法】	2時間
10	コーレス骨折；【牽引直圧整復法】	2時間
11	コーレス骨折；【牽引直圧整復法】	2時間
12	コーレス骨折〔クラーメル副子と局所副子・三角巾固定〕	2時間
13	コーレス骨折〔クラーメル副子と局所副子・三角巾固定〕	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	基礎柔道整復実技Ⅳ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	各部位に合わせて作成した副子・枕子・装具などを使用して、基本包帯法を組み合わせ固定することを修得する。					
担当講師	氏名	伏見 直哉		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	1 年生 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	各部位に応じた包帯法が施行できるようになる。					
準備学習の内容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授業の進め方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	上腕骨骨幹部骨折〔ミッドドルフ三角副子固定〕	2時間
2	上腕骨骨幹部骨折〔ミッドドルフ三角副子固定〕	2時間
3	上腕骨骨幹部骨折〔ミッドドルフ三角副子固定〕	2時間
4	第5指中手骨頸部骨折〔アルミ副子掌側固定〕	2時間
5	第5指中手骨頸部骨折〔アルミ副子掌側固定〕	2時間
6	第5指中手骨頸部骨折〔アルミ副子掌側固定〕	2時間
7	下腿骨骨幹部骨折〔クラーメル副子固定〕	2時間
8	下腿骨骨幹部骨折〔クラーメル副子固定〕	2時間
9	下腿骨骨幹部骨折〔クラーメル副子固定〕	2時間
10	肋骨骨折〔さらしと厚紙副子固定〕	2時間
11	肋骨骨折〔さらしと厚紙副子固定〕	2時間
12	手第2指PIP関節背側脱臼〔アルミ副子背側固定〕	2時間
13	手第2指PIP関節背側脱臼〔アルミ副子背側固定〕	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	基礎柔道整復実技Ⅴ		授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	各部位に合わせて作成した副子・枕子・装具などを使用して、基本包帯法を組み合わせ固定することを修得する。					
担 当 講 師	氏 名	伏見 直哉		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年	2 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到 達 目 標	各部位に応じた包帯法が施行できるようになる。					
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	肩鎖関節上方脱臼【整復法】	2時間
2	肩鎖関節上方脱臼【整復法】	2時間
3	肩鎖関節上方脱臼【整復法】	2時間
4	肩鎖関節上方脱臼〔テープ固定〕	2時間
5	肩鎖関節上方脱臼〔テープ固定〕	2時間
6	肩関節前方脱臼烏口下脱臼；【コッヘル法】	2時間
7	肩関節前方脱臼烏口下脱臼；【コッヘル法】	2時間
8	肩関節前方脱臼烏口下脱臼；【コッヘル法】	2時間
9	肩関節前方脱臼〔局所副子・三角巾固定〕	2時間
10	肩関節前方脱臼〔局所副子・三角巾固定〕	2時間
11	肘内障【整復法】	2時間
12	肘内障【整復法】	2時間
13	肘内障【整復法】	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	基礎柔道整復実技Ⅵ	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	各部位に合わせて作成した副子・枕子・装具などを使用して、基本包帯法を組み合わせ固定することを修得する。				
担 当 講 師	氏 名	伏見 直哉			
		■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年
					2 年生
					期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択
				<input type="checkbox"/> 自 由 選 択	
到 達 目 標	各部位に応じた包帯法が施行できるようになる。				
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。				
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	肘関節後方脱臼【整復法】	2時間
2	肘関節後方脱臼【整復法】	2時間
3	肘関節後方脱臼【整復法】	2時間
4	肘関節後方脱臼〔クラーメル副子・三角巾固定〕	2時間
5	肘関節後方脱臼〔クラーメル副子・三角巾固定〕	2時間
6	肘関節後方脱臼〔クラーメル副子・三角巾固定〕	2時間
7	上腕二頭筋長頭腱損傷<<検査法>>	2時間
8	上腕二頭筋長頭腱損傷<<検査法>>	2時間
9	上腕二頭筋長頭腱損傷<<検査法>>	2時間
10	肩腱板損傷<<検査法>>	2時間
11	肩腱板損傷<<検査法>>	2時間
12	肩腱板損傷<<検査法>>	2時間
13	肩腱板損傷<<検査法>>	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程
科 目 名	臨床柔道整復実技 I	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	臨床柔道整復学で学習した各部位の検査法・整復法・包帯による固定法とテーピングによる固定法を修得する。		
担 当 講 師	氏 名            伏見 直哉	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。		
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
学 習 時 期	学 年	2 年 生	期
到 達 目 標	各部位における検査法・整復法・固定法が施行できるようになる。		
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。		
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。		

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1	膝関節側副靭帯損傷<<検査法>>	2時間
2	膝関節側副靭帯損傷<<検査法>>	2時間
3	膝関節側副靭帯損傷<<検査法>>	2時間
4	膝関節側副靭帯損傷<<検査法>>	2時間
5	膝関節十字靭帯損傷<<検査法>>	2時間
6	膝関節十字靭帯損傷<<検査法>>	2時間
7	膝関節十字靭帯損傷<<検査法>>	2時間
8	膝関節半月板損傷<<検査法>>	2時間
9	膝関節半月板損傷<<検査法>>	2時間
10	膝関節半月板損傷<<検査法>>	2時間
11	下腿三頭筋損傷（肉離れ）<<検査法>>	2時間
12	下腿三頭筋損傷（肉離れ）<<検査法>>	2時間
13	下腿三頭筋損傷（肉離れ）<<検査法>>	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

<b>成績評価の方法・基準</b> 実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。 実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。
--

<b>使用教材・参考文献等</b> 柔道整復学（理論編） 柔道整復学（実技編） 包帯固定学
--

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	臨床柔道整復実技Ⅱ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	臨床柔道整復学で学習した各部位の検査法・整復法・包帯による固定法とテーピングによる固定法を修得する。					
担当講師	氏名	伏見 直哉		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	2 年生 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	各部位における検査法・整復法・固定法が施行できるようになる。					
準備学習の内容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授業の進め方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	ハムストリングス損傷（肉離れ）《検査法》	2時間
2	ハムストリングス損傷（肉離れ）《検査法》	2時間
3	ハムストリングス損傷（肉離れ）《検査法》	2時間
4	大腿四頭筋打撲《検査法》	2時間
5	大腿四頭筋打撲《検査法》	2時間
6	大腿四頭筋打撲《検査法》	2時間
7	アキレス腱断裂〔クラーメル副子固定〕	2時間
8	アキレス腱断裂〔クラーメル副子固定〕	2時間
9	足関節外側靭帯損傷《検査法》	2時間
10	足関節外側靭帯損傷《検査法》	2時間
11	足関節外側靭帯損傷《検査法》	2時間
12	足関節外側靭帯損傷〔局所副子固定〕	2時間
13	足関節外側靭帯損傷〔局所副子固定〕	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科		専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復実技Ⅲ		授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	臨床柔道整復学で学習した各部位の検査法・整復法・包帯による固定法とテーピングによる固定法を修得する。					
担 当 講 師	氏 名	桶谷 英司		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年	2 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択	<input type="checkbox"/> 自 由 選 択
到 達 目 標	各部位における検査法・整復法・固定法が施行できるようになる。					
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間
1	31項目 総復習	2時間
2	31項目 総復習	2時間
3	31項目 総復習	2時間
4	31項目 総復習	2時間
5	31項目 総復習	2時間
6	31項目 総復習	2時間
7	31項目 総復習	2時間
8	31項目 総復習	2時間
9	31項目 総復習	2時間
10	31項目 総復習	2時間
11	31項目 総復習	2時間
12	31項目 総復習	2時間
13	31項目 総復習	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編） 柔道整復学（実技編） 包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程
科 目 名	臨床柔道整復実技Ⅳ	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	臨床柔道整復学で学習した各部位の検査法・整復法・包帯による固定法とテーピングによる固定法を修得する。		
担 当 講 師	氏名                    伏見 直哉	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。		
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位
学 習 時 期	学 年	3 年 生	期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門 <input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択
到 達 目 標	各部位における検査法・整復法・固定法が施行できるようになる。		
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。		
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。		

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	31項目 総復習	2時間
2	31項目 総復習	2時間
3	31項目 総復習	2時間
4	31項目 総復習	2時間
5	31項目 総復習	2時間
6	31項目 総復習	2時間
7	31項目 総復習	2時間
8	31項目 総復習	2時間
9	31項目 総復習	2時間
10	31項目 総復習	2時間
11	31項目 総復習	2時間
12	31項目 総復習	2時間
13	31項目 総復習	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編） 柔道整復学（実技編） 包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復実技Ⅴ	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	臨床柔道整復学で学習した各部位の検査法・整復法・包帯による固定法とテーピングによる固定法を修得する。				
担 当 講 師	氏名 中嶋 真司	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年 3 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択
到 達 目 標	各部位における検査法・整復法・固定法が施行できるようになる。				
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。				
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	31項目 総復習	2時間
2	31項目 総復習	2時間
3	31項目 総復習	2時間
4	31項目 総復習	2時間
5	31項目 総復習	2時間
6	31項目 総復習	2時間
7	31項目 総復習	2時間
8	31項目 総復習	2時間
9	31項目 総復習	2時間
10	31項目 総復習	2時間
11	31項目 総復習	2時間
12	31項目 総復習	2時間
13	31項目 総復習	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編） 柔道整復学（実技編） 包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復実技Ⅵ	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	臨床柔道整復学で学習した各部位の検査法・整復法・包帯による固定法とテーピングによる固定法を修得する。				
担 当 講 師	氏名 中嶋 真司	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年 3 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到 達 目 標	各部位における検査法・整復法・固定法が施行できるようになる。				
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。				
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	31項目 総復習	2時間
2	31項目 総復習	2時間
3	31項目 総復習	2時間
4	31項目 総復習	2時間
5	31項目 総復習	2時間
6	31項目 総復習	2時間
7	31項目 総復習	2時間
8	31項目 総復習	2時間
9	31項目 総復習	2時間
10	31項目 総復習	2時間
11	31項目 総復習	2時間
12	31項目 総復習	2時間
13	31項目 総復習	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

認定実技審査試験、授業態度並びに取り組みの姿勢を総合的に評価する。  
実技試験は上記の全てを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編） 柔道整復学（実技編） 包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	臨床柔道整復実技Ⅶ	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	臨床柔道整復学で学習した各部位の検査法・整復法・包帯による固定法とテーピングによる固定法を修得する。				
担 当 講 師	氏名 桶谷 英司	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位	学 習 時 期	学 年 3 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到 達 目 標	各部位における検査法・整復法・固定法が施行できるようになる。				
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。				
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	31項目 総復習	2時間
2	31項目 総復習	2時間
3	31項目 総復習	2時間
4	31項目 総復習	2時間
5	31項目 総復習	2時間
6	31項目 総復習	2時間
7	31項目 総復習	2時間
8	31項目 総復習	2時間
9	31項目 総復習	2時間
10	31項目 総復習	2時間
11	31項目 総復習	2時間
12	31項目 総復習	2時間
13	31項目 総復習	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

認定実技審査試験、授業態度並びに取り組みの姿勢を総合的に評価する。  
実技試験は上記の全てを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編） 柔道整復学（実技編） 包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程
科 目 名	臨床柔道整復実技Ⅷ	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	臨床柔道整復学で学習した各部位の検査法・整復法・包帯による固定法とテーピングによる固定法を修得する。		
担 当 講 師	氏名                    桶谷 英司	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。		
時 間 数	30 時間	単 位 数	1 単位
学 習 時 期	学 年	3 年 生	期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門 <input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修 <input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択
到 達 目 標	各部位における検査法・整復法・固定法が施行できるようになる。		
準 備 学 習 の 内 容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。		
授 業 の 進 め 方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。		

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	31項目 総復習	2時間
2	31項目 総復習	2時間
3	31項目 総復習	2時間
4	31項目 総復習	2時間
5	31項目 総復習	2時間
6	31項目 総復習	2時間
7	31項目 総復習	2時間
8	31項目 総復習	2時間
9	31項目 総復習	2時間
10	31項目 総復習	2時間
11	31項目 総復習	2時間
12	31項目 総復習	2時間
13	31項目 総復習	2時間
14	まとめ・実技試験	2時間
15	評価・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

認定実技審査試験、授業態度並びに取り組みの姿勢を総合的に評価する。  
実技試験は上記の全てを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編） 柔道整復学（実技編） 包帯固定学

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	応用柔道整復実技 I		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	柔道整復師の業務に必要な医療面接（問診・視診・触診を含む）を通して損傷を推測・判断する能力を養う。					
担当講師	氏名	伏見 直哉		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	3 年生 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	問診・視診・触診を通して損傷を判断できるようになる。					
準備学習の内容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理論については、板書を中心とした講義を行う。</li> <li>・実技科目については、講師の指示に従って実技を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	医療面接の目的と医療面接とは何か	2時間
2	医療面接を始める前に・医療面接の進め方	2時間
3	医療面接を始める前に・医療面接の進め方	2時間
4	言語メッセージと非言語メッセージ	2時間
5	促しと遮りと共感	2時間
6	プライバシーと専門用語・業界用語	2時間
7	関節可動域測定（基礎知識編）	2時間
8	関節可動域測定（基礎知識編）	2時間
9	関節可動域測定（頭部・体幹）	2時間
10	関節可動域測定（上肢）	2時間
11	関節可動域測定（上肢）	2時間
12	関節可動域測定（下肢）	2時間
13	関節可動域測定（下肢）	2時間
14	総復習	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編）  
「一般臨床医学 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	応用柔道整復実技Ⅱ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	柔道整復師の業務に必要な医療面接（問診・視診・触診を含む）を通して損傷を推測・判断する能力を養う。					
担当講師	氏名	伏見 直哉		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	3 年生 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	問診・視診・触診を通して損傷を判断できるようになる。					
準備学習の内容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授業の進め方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 二人又は三人一組になって相互に実技を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	身体計測（測定方法）	2時間
2	身体計測（測定方法）	2時間
3	深部反射	2時間
4	病的反射	2時間
5	徒手検査法（脊柱）	2時間
6	徒手検査法（脊柱）	2時間
7	徒手検査（胸郭・上肢）	2時間
8	徒手検査（胸郭・上肢）	2時間
9	徒手検査（胸郭・上肢）	2時間
10	徒手検査（股関節・下肢）	2時間
11	徒手検査（股関節・下肢）	2時間
12	徒手検査（股関節・下肢）	2時間
13	質疑・応答	2時間
14	総復習	2時間
15	解答・解説	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編）  
「一般臨床医学 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	応用柔道整復実技Ⅲ		授業方法	<input type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授業概要	柔道整復師の業務に必要な医療面接（問診・視診・触診を含む）を通して損傷を推測・判断する能力を養う。					
担当講師	氏名	中嶋 真司		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	1 単位	学習時期	学年	3 年生 期
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門	<input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	問診・視診・触診を通して損傷を判断できるようになる。					
準備学習の内容	教科書や配布したプリントをもとに日々練習し、習得する。					
授業の進め方	実技科目のため、講師の指示に従って実技を行う。 講師が面接官となり、臨床の実技を行う。					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1	医療面接総復習①	2時間
2	医療面接総復習②	2時間
3	医療面接総復習③	2時間
4	医療面接総復習④	2時間
5	医療面接総復習⑤	2時間
6	医療面接総復習⑥	2時間
7	医療面接総復習⑦	2時間
8	医療面接総復習⑧	2時間
9	医療面接総復習⑨	2時間
10	医療面接総復習⑩	2時間
11	医療面接総復習⑪	2時間
12	医療面接総復習⑫	2時間
13	医療面接総復習⑬	2時間
14	医療面接総復習⑭	2時間
15	医療面接総復習⑮	2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

実技試験、授業態度並びに取り組みの姿勢により総合的に評価する。  
実技試験は上記の内容すべてを試験範囲とする。

## 使用教材・参考文献等

柔道整復学（理論編）  
「一般臨床医学 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程				
科 目 名	臨床実習	授 業 方 法	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> 実習		
授 業 概 要	病院や老人介護施設などの外部施設において、生の患者様と触れ合いながら現場での柔道整復師の必要性を学習する。						
担 当 講 師	氏 名	中嶋 真司 <span style="float: right;">■ 実務経験を有する教員</span>					
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。						
時 間 数	180 時間	単 位 数	4 単位	学 習 時 期	学 年	12 年 生	期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択	<input type="checkbox"/> 自由選択	
到 達 目 標	医療従事者を目指す学生としての基本的態度、学習者としての立場を理解し、下記の項目の実現を目標とする。						
準 備 学 習 の 内 容	事前に指導教員に必要なものを確認し、現場の指導教員に従う事						
授 業 の 進 め 方	1日3時間の15日間（45時間）で1単位とし、1年次に2単位、2年次に2単位（合計4単位）行う。						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		3時間
2		3時間
3	1) 医療従事者を目指す学生としての基本的態度、学習者としての	3時間
4	立場を理解する	3時間
5	1. 医療従事者を目指す学生として適切な身なりを整えることができる	3時間
6	2. 医療従事者を目指す学生として適切なあいさつや言葉遣いができる	3時間
7	3. 実習場面の状況に応じた適切な態度や行動ができる	3時間
8	4. 常に対象者の立場を配慮し尊重することができる	3時間
9	5. 実習場面の経験に対して常に感謝の意を表すことができる	3時間
10	6. 指導者への報告・連絡・相談を徹底して行うことができる	3時間
11	2) 対象者に興味を持つ	3時間
12	1. 対象者に受け入れられるように自ら関わりを持つことができる	3時間
13	2. 対象者の思いに共感することができる	3時間
14	3. 対象者の訴えを傾聴し、要望を常に把握することができる	3時間
15	4. 対象者の反応や変化を敏感に感じ取ることができる	3時間
16	5. 対象者のニーズを理解しようと行動できる	3時間
17	6. 対象者の問題解決に向けた行動ができる	3時間
18	3) 関りを通じて学習する	
19	1. 目的意識を持ち自ら関わりを持つことができる	
20	2. 自己の考えを持ち他者に表出することができる	
21	3. 他者の意見を受け止め自己を振り返ることができる	
22	4. 経験したことを振り返り自己の課題を整理することができる	
23	5. 自己の課題に対して学習計画を立てることができる	
24	6. 自己の課題を解決しようと行動できる	
25	柔道整復師として上記を達成目標として実習を行う。	

## 成績評価の方法・基準

臨床実習評価シートの項目ごとに成績評価を行う。

## 使用教材・参考文献等

・ 自主作成「臨床実習の手引き」

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習1	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器を解剖学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                      中嶋 真司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    1 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程				
科目名	総合演習2	授業方法	■ 演習 □ 実技 □ 実習				
授業概要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器を解剖学の知識と合わせて総合的に学習する。						
担当講師	氏名 桶谷 英司	■ 実務経験を有する教員					
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生	期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習3	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器を解剖学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                      桶谷 英司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    1 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授 業 内 容	授 業 時 間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「解剖学 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	総合演習4		授業方法	■ 演習 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器を解剖学の知識と合わせて総合的に学習する。					
担当講師	氏名	桶谷 英司		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	1 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「生理学 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程		
科目名	総合演習5	授業方法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授業概要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器を解剖学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担当講師	氏名                      桶谷 英司	■ 実務経験を有する教員			
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年    1 年生    期
科目区分	■ 専門    □ 一般	履修区分	■ 必修    □ 選択    □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける				
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13	10) 公衆衛生学などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「生理学 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習6	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器を解剖学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                      桶谷 英司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    1 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「運動学 改訂第3版」 全国柔道整復学学校協会監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習7	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器を解剖学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                      桶 谷   英 司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    1 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「病理学概論 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程
科目名	総合演習8	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授業概要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器を解剖学の知識と合わせて総合的に学習する。		
担当講師	氏名                      桶谷 英司	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。		
時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける		
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授業の進め方	・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。 ・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。		

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13	10) 公衆衛生学などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「リハビリテーション医学」 改訂第3版 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習9	授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（特に骨・筋肉・神経）を運動学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏名 桶谷 英司	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年 1 年 生 期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択 <input type="checkbox"/> 自 由 選 択
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「一般臨床医学 改訂第3版」 全国柔道整復学校協会 監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程
科目名	総合演習10	授業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> 実習
授業概要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（特に骨・筋肉・神経）を運動学の知識と合わせて総合的に学習する。		
担当講師	氏名            桶谷 英司	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員	
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。		
時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 専門 <input type="checkbox"/> 一般	履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける		
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授業の進め方	・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。 ・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。		

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「外科学概論 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習11	授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（特に骨・筋肉・神経）を運動学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名	伏見 直哉			
		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年
					2 年 生
					期
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択
				<input type="checkbox"/> 自 由 選 択	
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「整形外科学 改訂第4版」 全国柔道整復学校協会 監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	総合演習12		授業方法	■ 演習 □ 実技 □ 実習		
授業概要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器に対する後療法をリハビリテーション医学の知識と合わせて総合的に学習する。					
担当講師	氏名 伏見 直哉		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「衛生学・公衆衛生学」 改訂第6版 全国柔道整復学校協会監修 鈴木庄亮著 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習13	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器に対する後療法をリハビリテーション医学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名	伏見 直哉			
		■ 実務経験を有する教員			
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年
					2 年 生
					期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般		履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択	
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「関係法規」 2019年版 全国柔道整復学校協会監修 医歯薬出版

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習14	授 業 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> 実習
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器の検査法や診断法を生理学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名	伏見 直哉			
		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年
					2 年 生
科 目 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 専 門	<input type="checkbox"/> 一 般	履 修 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 必 修	<input type="checkbox"/> 選 択
				<input type="checkbox"/> 自 由 選 択	
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学・理論編」 改訂第6版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習15	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器の検査法や診断法を生理学の知識と合わせて総合的に学習する				
担 当 講 師	氏 名            伏見 直哉	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    2 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学・理論編」 改訂第6版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程				
科目名	総合演習16	授業方法	■ 演習 □ 実技 □ 実習				
授業概要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器の検査法や診断法を生理学の知識と合わせて総合的に学習する。						
担当講師	氏名	伏見 直哉	■ 実務経験を有する教員				
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	2 年生	期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学・理論編」 改訂第6版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習17	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器の検査法や診断法を生理学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名            伏見 直哉	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    2 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13	などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学・理論編」 改訂第6版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習18	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器の検査法や診断法を生理学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名            伏見 直哉	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    2 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学・理論編」 改訂第6版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習19	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器の検査法や診断法を生理学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                    伏見 直哉	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    2 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

--

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習20	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で行われる医療面接時の患者の所見から内科的疾患を判断するために一般臨床医学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                      中嶋 真司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    3 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学・理論編 改訂第6版/実技編」 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習21	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	柔道整復師の業務で行われる医療面接時の患者の所見から内科的疾患を判断するために一般臨床医学の知識と合わせて総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                      中嶋 真司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    3 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

授業進行計画表			
回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

成績評価の方法・基準
科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

使用教材・参考文献等
「柔道整復学・理論編 改訂第6版/実技編」 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程
科 目 名	総合演習22	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習
授 業 概 要	柔道整復師の業務で行われる医療面接時の患者の所見から正常な細胞・組織を判断するために病理学の知識と合わせて総合的に学習する。		
担 当 講 師	氏名                    中嶋 真司	■ 実務経験を有する教員	
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。		
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位
科目区分	■ 専門    □ 一般	履修区分	■ 必修    □ 選択    □ 自由選択
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける		
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>		

授業進行計画表			
回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

成績評価の方法・基準
科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

使用教材・参考文献等
「柔道整復学・理論編 改訂第6版/実技編」 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	総合演習23		授業方法	■ 演習 □ 実技 □ 実習		
授業概要	基礎柔道整復学や臨床柔道整復学で学習してきた総論・各論の内容（上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷）を総合的に学習する。					
担当講師	氏名	中嶋 真司		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学・理論編 改訂第6版/実技編」 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程				
科目名	総合演習24	授業方法	■ 演習 □ 実技 □ 実習				
授業概要	基礎柔道整復学や臨床柔道整復学で学習してきた総論・各論の内容（上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷）を総合的に学習する。						
担当講師	氏名 中嶋 真司	■ 実務経験を有する教員					
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。						
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生	期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択			
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける						
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事						
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>						

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学・理論編 改訂第6版/実技編」 改訂第2版 全国柔道整復学校協会監修 南江堂

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習25	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	基礎柔道整復学や臨床柔道整復学で学習してきた総論・各論の内容（上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷）を総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                      中嶋 真司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    3 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

授業進行計画表		
回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13	10) 公衆衛生学などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

成績評価の方法・基準
科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

使用教材・参考文献等
「柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学」 他

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科		専門課程	医療専門課程		
科目名	総合演習26		授業方法	■ 演習 □ 実技 □ 実習		
授業概要	基礎柔道整復学や臨床柔道整復学で学習してきた総論・各論の内容（上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷）を総合的に学習する。					
担当講師	氏名	中嶋 真司		■ 実務経験を有する教員		
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。					
時間数	30 時間	単位数	2 単位	学習時期	学年	3 年生 期
科目区分	■ 専門 □ 一般		履修区分	■ 必修 □ 選択 □ 自由選択		
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける					
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事					
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>					

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学」 他

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習27	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	基礎柔道整復学や臨床柔道整復学で学習してきた総論・各論の内容（上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷）を総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                      中嶋 真司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    3 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学」 他

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学科名	柔道整復師科	専門課程	医療専門課程
科目名	総合演習28	授業方法	■ 演習    □ 実技    □ 実習
授業概要	基礎柔道整復学や臨床柔道整復学で学習してきた総論・各論の内容（上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷）を総合的に学習する。		
担当講師	氏名                      中嶋 真司	■ 実務経験を有する教員	
実務経験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。		
時間数	30 時間	単位数	2 単位
科目区分	■ 専門    □ 一般	履修区分	■ 必修    □ 選択    □ 自由選択
到達目標	国家試験合格可能な学力をつける		
準備学習の内容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>		

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間	
1		2時間	
2		2時間	
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靱帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間	
4		2時間	
5		1) 解剖学	2時間
6		2) 生理学	2時間
7		3) 運動学	2時間
8		4) リハビリテーション医学	2時間
9		5) 外科学概論	2時間
10		6) 整形外科学	2時間
11		7) 一般臨床医学	2時間
12		8) 病理学概論	2時間
13		9) 関係法規	2時間
14		10) 公衆衛生学	2時間
15		などの知識と合わせて総合的に学習する。	2時間
16			2時間
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学」 他

# 授業計画表（シラバス）

2024 年度

長崎医療こども専門学校

学 科 名	柔道整復師科	専 門 課 程	医療専門課程		
科 目 名	総合演習29	授 業 方 法	■ 演習    □ 実技    □ 実習		
授 業 概 要	基礎柔道整復学や臨床柔道整復学で学習してきた総論・各論の内容（上肢・下肢・体幹の骨折・脱臼・軟部組織損傷）を総合的に学習する。				
担 当 講 師	氏 名                      中嶋 真司	■ 実務経験を有する教員			
実 務 経 験	整骨院にて施術者として勤務。患者への治療経験をもとに講義を行う。				
時 間 数	30 時間	単 位 数	2 単位	学 習 時 期	学 年    3 年 生    期
科 目 区 分	■ 専 門    □ 一 般	履 修 区 分	■ 必 修    □ 選 択    □ 自 由 選 択		
到 達 目 標	国家試験合格可能な学力をつける				
準 備 学 習 の 内 容	日々、教科書をもとに予習をし、また板書したノートをもとに復習する事				
授 業 の 進 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験合格に向けて、過去に履修した科目の復習を行う。</li> <li>・ 授業方法は、板書を中心とした講義を行う。</li> </ul>				

## 授業進行計画表

回数	授業内容	授業時間
1		2時間
2		2時間
3	柔道整復師の理論・実技について、並びに、柔道整復師の業務で遭遇する外傷に伴い合併損傷する運動器（骨・筋肉・神経・血管・関節包・靭帯・皮膚）や臓器などの損傷を	2時間
4		2時間
5		2時間
6		2時間
7		2時間
8		2時間
9		2時間
10		2時間
11		2時間
12		2時間
13		2時間
14		2時間
15		2時間
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

## 成績評価の方法・基準

科目終了時に試験を行い、60点以上を成績評価する。

## 使用教材・参考文献等

「柔道整復学（理論編）柔道整復学（実技編）包帯固定学」 他